

各務原市資料調査報告書 第28号

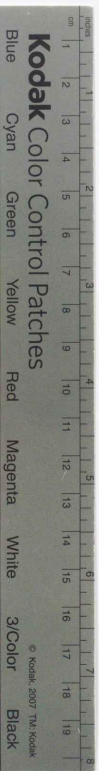
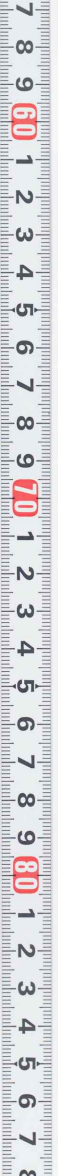


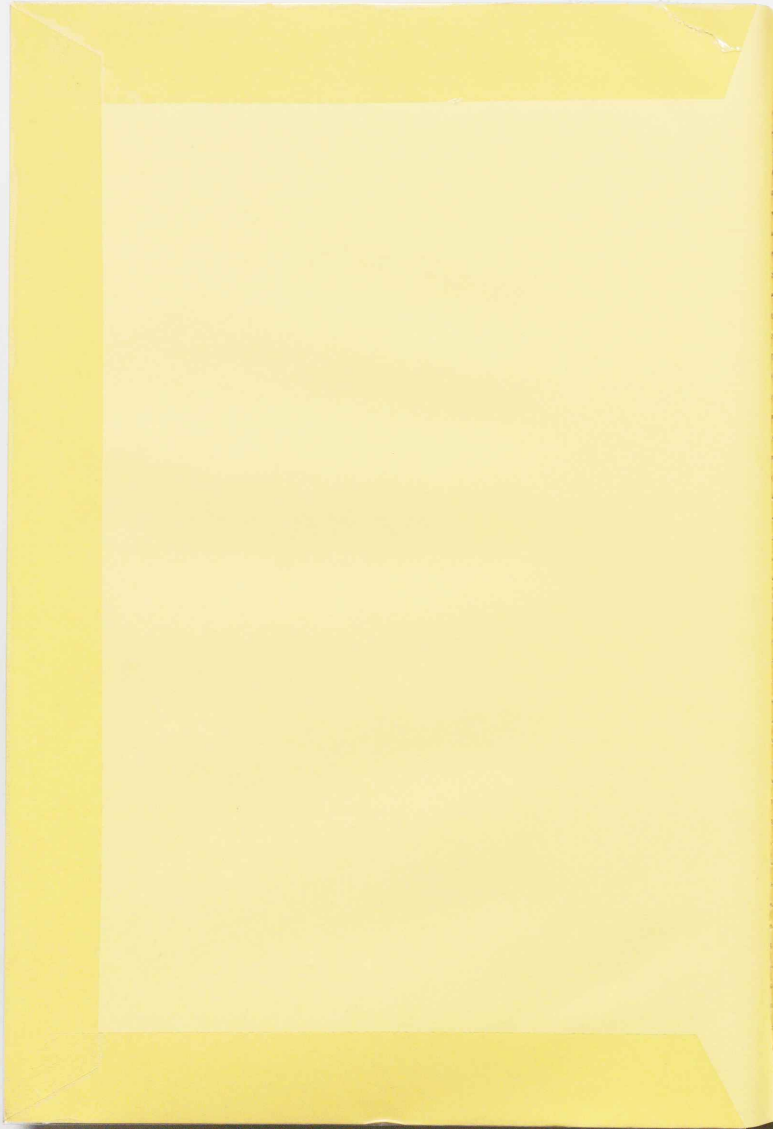
庶民史料が語る 昭和初期の暮らし

— 競馬関係資料・軍事郵便 —



各務原市歴史民俗資料館





THE HISTORY OF THE
CITY OF BOSTON
FROM THE FIRST SETTLEMENT
TO THE PRESENT TIME
BY
NATHANIEL BENTLEY
VOLUME I
PUBLISHED BY
J. B. BENTLEY
1822

THE HISTORY OF THE
CITY OF BOSTON
FROM THE FIRST SETTLEMENT
TO THE PRESENT TIME
BY
NATHANIEL BENTLEY
VOLUME I
PUBLISHED BY
J. B. BENTLEY
1822

THE HISTORY OF THE
CITY OF BOSTON
FROM THE FIRST SETTLEMENT
TO THE PRESENT TIME
BY
NATHANIEL BENTLEY
VOLUME I
PUBLISHED BY
J. B. BENTLEY
1822

戦時資料を見つめ直す

各務原市教育委員会 教育長 高根 靖 臣

各務原市歴史民俗資料館は、昭和45年7月蘇原支所内に設置されて以来、事務所を度々移転しながらも、市域の歴史・民俗資料を収集・保管し、市民の教育、学術及び文化の発展に努めてきました。この間、『各務原市史』『各務原の歴史』などの刊行物をまとめてきましたが、中でも戦時体験シリーズ3作（『各務原市民の戦時体験』『各務原市民の戦時写真』『各務原市民の戦時記録』）は、勤労動員や空襲などの実体験を市民が語り伝えるものとして、内外から好評を得ています。

さて、本年度は各務東町の宇野尹久子さんから158点の資料提供がありました。先に寄贈された資料と合わせますと、その数は1,500点余になると聞いております。明治期以来の公文書・私文書から成る宇野家の文書は、各務原の近代史を研究していく上で欠かすことができない資料群になると思われまます。

ここにまとめられました資料調査報告書は、今回新たに寄贈された宇野家文書を整理して目録化するとともに、特色ある資料を取り出して、その内容を読みとり、解説を付けることにも主眼が置かれました。紹介されている競馬関係資料や戦地から送られてきた軍事郵便は、昭和初期における人々の暮らしを語りつづものとして、重要な「史料」となります。

来年は戦後60年という記念すべき年です。昭和20年に生を受けた者が還暦を迎えるわけで、戦時中の話を直接うかがうことは年々難しくなります。わたくしたちが民主的で平和的な国家を形成していくためにも、戦争の話を風化させることなく、戦時資料を見つめ直していくことは必要であると思えます。昭和初期の資料を収集することは、こういう点において意義のあることです。

なお、本書の「史料」は写真や解説文の形で掲載されています。木曾川学や近代史研究の素材として、或いは学校の教材として活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、資料を寄贈していただきました宇野尹久子さんには、厚く感謝を申し上げ、巻頭のご挨拶にさせていただきます。

例 言

1. 本資料目録は、平成14年度に刊行した「各務原市文書史料目録七」に続くもので、「宇野尹久子家文書」の補遺を目録化して掲載しました。
2. 「文書史料目録八」について
 - (1) 本文書史料目録に掲載した文書史料は、宇野尹久子家文書(158点)です。
 - (2) 本文書史料目録は、岐阜県歴史資料館の史料分類例により、次の項目に従って分類整理しました。
 - ◇近代史料の分類(原則として明治元年～昭和20年)
 - ①国と県関係 ②土地関係 ③租税関係 ④村関係 ⑤土木水利関係
 - ⑥幼業関係 ⑦運輸関係 ⑧社会関係 ⑨社寺教育関係
 - ◇私文書史料(近世・近代とも)
 - ①家関係 ②家産関係 ③生活と文化
 - (3) 史料の掲載は、年次・資料名・備考の順です。年次は、分かる範囲内で年号及び月日を入れることとし、年号等未詳のものは不明のまま掲載しました。数量については複数あるもののみ資料名の次に掲載しました。
 - (4) 表題は、原文書に明記してあるものはそのまま掲載しましたが、内容を示すため、()で囲んだり整理担当者で仮表題を付けたものもあります。特に手紙や葉書は用件を付して、内容が分かるようにしました。
3. 史料編について
 - (1) 「宇野尹久子家文書」のうち競馬関係資料と軍事郵便を抽出しました。資料番号は、目録の通番と符合します。なお、解説では資料の通番を「□号文書」と表記しました。例えば、8番の資料を解説で引用する場合は、「8号文書」となります。
 - (2) 内容や形式で特色がある資料は、はじめに写真を掲載し、次に解説文を入れる構成にしました。
 - (3) 解説文には、適宜句読点を付けて読みやすくしました。また旧字体は常用漢字に、変体仮名等は現代仮名に改めました。
 - (4) 資料に誤字・脱字がある場合は、傍注に正字や欠落した字を入れました。
 - (5) 資料の意味不明な部分には傍注に(ママ)を付しました。
 - (6) 資料の傷みで判読が難しい部分は、[(不明)]と表記しました。
 - (7) 資料の作成時期が分かるものについては、傍注に年号を付して、前後関係が判断できるようにしました。
 - (8) 必要に応じて、資料の末尾に注釈を入れました。
4. この史料目録の作成は、各務原市歴史民俗資料館の大森利博・蓑島一美・鳥居進・藤吉勝彦・松岡初美・佐伯晴美が担当しました。

表紙の写真について

- 上 水車屋の引札(作成年月日未詳)
下 戦前の宇野家住宅(撮影年月日未詳) 2枚とも宇野尹久子さん所蔵

目 次

◇巻頭言	戦時資料を見つめ直す 各務原市教育委員会 教育長 高根 靖臣
◇例 言	
◇目 次	
◇文書史料目録八	
1. 史料解説 庶民史料が語る昭和初期のくらし	2
(1) 宇野領三のこと	2
(2) 地方競馬の始まり	3
(3) 種牡馬検査の実施	5
(4) 各務原競馬場の消長	5
(5) 競走馬の入手方法	7
(6) 軍事郵便	8
2. 史料目録 宇野尹久子家文書	17
◇史料編 競馬関係	54- (1)
軍事郵便	34- (21)
◇参考文献	
◇編集後記	
◇干支早見表	

文書史料目録八

1. 史料解説

庶民史料が語る昭和初期の暮らし

- (1) 宇野領三のこと
- (2) 地方競馬の始まり
- (3) 種牡馬検査の実施
- (4) 各務原競馬場の消長
- (5) 競走馬の入手方法
- (6) 軍事郵便

2. 史料目録

宇野尹久子家文書

庶民史料が語る昭和初期のくらし



馬の定期検査風景（各務東町 宇野尹久子さん所蔵）

今回「補遺」という形で収蔵した宇野尹久子家文書は158点になります。昨年度紹介した資料829点と合わせると、その総数は987点になります。尹久子さんの舅にあたる領三と夫人の志津恵（静枝・静子とも書く）が、明治期から昭和初期にかけて残した資料から成り立っています。

その中でも、競馬関係の資料と軍事郵便は、各務原市の地域的な特色を表すとともに、戦時資料を補充するものとして特筆できます。同家の「史料」をもとにしながら、昭和初期のくらしについて概観してみましょう。

(1) 宇野領三のこと

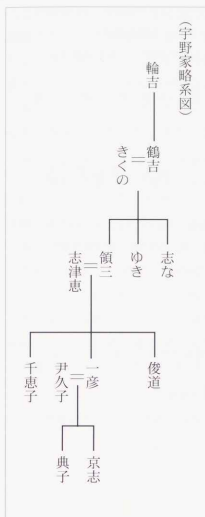


宇野領三

何頭かの馬が集まっている上の写真は、建造物の特徴から「岐阜県物産館」前で撮影されたものと思われます。現在の岐阜総合庁舎（岐阜市司町）付近にあたるわけですが、残念ながら撮影時期は分かりません。宇野尹久子さんの話によれば、舅の宇野領三（1896～1994）が若いころに撮影した写真のようです。

宇野領三は明治29年（1896）各務村で生まれ、父鶴吉の跡を継いで呉服商「水車屋」を営みました。商いは呉服だけにとどまらず、味噌、雑貨、煙草なども扱い、村唯一の商店として栄えたといえます。

昭和14年ころに作成された掛売帳（表紙は無題）から、当時の得



意先と掛売状況を知ることができます（別表資料参照）。水車屋の得意先軒数は327、掛売の実績は7,600円余になっていました。掛売というのは、月末か盆・暮れに集金する商売のやり方です。いわゆる「信用販売」を行っていました。したがって、身近な各務村の人を相手に商売することが多かったでしょうし、村の人も水車屋を頼りにすることがあったようです。例えば、別表の138番（個人）は、20円の付けを支払うことができず、妻一依の現物で代納しています。得意先が困っているときは相談に応じて、無理な取り立てをしなかったのです。決済完了が37%と少ないのは、このような商売を行っていたからでしょうか。

しかし、領三の人望は厚く、昭和3年（1928）から村会議員、同8年から村土木委員となり、村政にも力を尽くしました。その傍らで、競走馬の飼育やレースに興味をもち、馬を入手し始めたといえます。では、どのように関わっていたのか見てみましょう。

(2) 地方競馬の始まり

宇野尹久子家文書にある、馬の血統を記した書類を分析してみると、領三は大正末期から昭和初期にかけて、競走馬の購入と飼育に力を入れていたことが分かります。

表1 宇野領三が所持していた馬籍等の書類

時期	馬名	年齢	性別	書類	交付者
大正14年	第二春駒号	1	牡	馬匹血統書	青森県三戸郡
大正15年	平厩号	1	牡	血統証明書	福島種馬所
昭和3年	森ノ奥号	1 1	不詳	返還ノ通牒	留守第三師団
	浦川号	1	牡	馬籍	岩手県九戸郡
昭和4年	第二春駒号	5	牝	馬籍	福島郡各務村
	第二長松号	1	牡	血統証明書	宮城県種馬所
昭和5年	早風号	4	不詳	売却委託書	宇野領三
昭和8年	中勇号	3	牡	馬籍	揖斐郡大野町外

馬籍は、大正10年（1921）

に制定された「馬籍法」により、市町村長の管掌事務として作成されることになったもので、いわば「馬の戸籍」にあたります。その様式は、第3条に示されているように、馬の名称、性、種類、毛色、特徴、産地などを記載しました。そして馬の所有者や飼養場所となる

市町村に変更があったときは、その発生から30日以内に当該市町村に届け出ることが義務づけられたのです（第9条）。

馬籍法（抄）

第1条 馬籍ニ関スル事務ハ市町村長之ヲ管掌ス

第2条 馬籍ハ命令ノ定ムル所ニ依リ市町村内ニ於テ飼養スル馬ニ付一頭毎ニ之ヲ作ル

馬籍ハ編綴シテ帳簿ト為ス

第3条 馬籍二ハ馬二付左ノ事項ヲ記載ス

1 名称 2 性 3 種類 4 毛色 5 特徴 6 産地 7 生年月日 8 体格 9 飼養場所
10 所有者ノ氏名称 11 所有者ノ住所又ハ居所 12 管理人アルトキハ管理人ノ氏名称及住所又ハ居所 13 履歴

第4条 前条ノ規定ニ依ル馬籍ノ記載ハ届出ニ依リ之ヲ為ス、但シ体格ノ記載ハ明ケ三歳以上ノ馬ニ付第11条ノ検査ノ結果ニ依リ之ヲ為ス
(略)

第8条 馬出生シタルトキ又ハ本法ノ適用ヲ受ケサル馬其ノ適用ヲ受クルニ至リタルトキハ其ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ30日以内ニ第3条第1号乃至第7号及第9号乃至第13号ニ掲ケル事項ヲ其ノ馬籍ヲ管掌スル市町村長ニ届出ツヘシ

第9条 左ノ各号ノ一ニ該当スルトキハ馬ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ30日以内ニ其ノ旨ヲ其ノ馬籍ヲ管掌スル市町村長ニ届出ツヘシ、但シ第4号ニ該当スル場合ニ在リテハ其ノ際ノ所有者ヨリ届出ツヘシ

- 1 馬ヲ所有スルニ至リタルトキ
 - 2 馬ノ飼養場所ヲ他ノ市町村ヨリ移シタルトキ
 - 3 馬死亡シタルトキ
 - 4 第15条第3号ニ該当スルニ至リタル場合ヲ除クノ外本法ノ適用ヲ受クル馬其ノ適用ヲ受ケサルニ至リタルトキ
 - 5 前4号ニ掲ケル場合ヲ除クノ外馬籍ニ関シ届出ヲ要スル事項ニ変更アリタルトキ
- 前項第1号又ハ第2号ニ該当スル場合ニ於テケル届出ニハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外馬籍簿本ヲ添付スヘシ
(略)

第15条 本法ハ左ノ各号ノ一ニ該当スル馬ニ付、之ヲ適用セス

- 1 國ノ所有ニ係ルモノ
- 2 陸軍軍人ノ所有ニ係ルモノニシテ其ノ職務上要スルモノ
- 3 明ケ三十歳以上ノモノ

(以下略)

(大正10年4月28日の法律第95号により制定)

宇野家における一番古い馬籍は、昭和4年(1929)10月22日に各務村長澤井達之進が交付した「第二春駒号」の馬籍簿本です(資料調査報告書第37号)。馬の所有者は宇野領三で、履歴には同年9月16日各務村の柴山浜治から購入したとあります。所有者の変更によって、馬籍を作成する要件がこのとき発生したのです。第二春駒号は、父を「内国産洋馬 西谷」としながらも、母が「雜種 春駒」であったため、「雜種」として扱われました。

同じ馬名の馬匹血統書が、大正14年5月26日、青森県三戸郡八戸産馬畜産組合から発行されています(138号文庫)。2つの第二春駒号は、両親や生年月日(大正13年3月27日)が一致することから、同一の馬と見て間違いないでしょう。領三が馬を購入する際、血統が分かる資料として添付されてきたものと思われる。ただ、馬匹血統書は産地を青森県としているのに対し、馬籍簿本の方は北海道としています。また牡馬として生まれたものが、「駒」=去勢馬にされています。2つの書類を比較すると、幾つかの相違点が見られますが、何故そうなったのか、経緯はよく分かりません。

この時期は、昭和2年に地方競馬規則が制定されて、洋式競馬に倣った競馬場が各地に設置されたことと符合します。岐阜県では恵那郡中津町と海津郡高須町の2ヶ所に設けられました。領三のもとにも、中津町競馬グラウンドで開催する、昭和4年秋季競馬会の番組表が送られて、所有馬の出走を勧められています(144号文庫)。領三の競走馬飼育が、いよいよ本格的になってきたことを示しています。したがって、冒頭の写真に見られる光景は競走馬の集まりと思われませんが、いったい何が行われたのでしょうか

(3) 種牡馬検査の実施

岐阜県は昭和6年8月26日「定期種牡馬検査」を実施すると告示しました(県告示第396号)。種牡馬に限定しているのは、血統馬の種付け状況を確実に促進していく必要があったからです。検査の期日と場所は表2のとおりでした。

各務村の場合、最寄りの検査場所は岐阜市司町になります。写真の光景は、この検査時の一場面と考えられますが、残念ながら確認はありません。

地方競馬規則は、馬の改良増殖と馬事思想向上を目的として公布されたものです。競馬開催にかかわる認可権は地方長官である県知事にあります。県知事としても、馬匹改良と増殖を目指した種牡馬の検査を定期的に実施し、軍の徴用に足る馬を増産しなければなりません。この一枚の写真は、こうした昭和初期の世相を物語っているとと言えます。

表2 検査の期日と場所

9月25日午前	岐阜市司町	25日午後	大垣市藤江町
26日午後	郡上郡八幡町	27日午後	郡上郡白鳥町
29日午前	武儀郡関町	30日午後	恵那郡中津町
10月1日午後	益田郡萩原町	2日午前	大野郡久々野村
3日午前	大野郡高山町	4日午前	大野郡清見村
5日午後	古城郡船津町		

(4) 各務原競馬場の消長

各務原には昭和6年から昭和13年まで競馬場が設置されていました。『地方競馬史』第一巻によると、競馬場設置の背景には、清水東一という人物が中心となって、岐阜市付近に競馬場を設置しようとする運動があったといえます。当初は宮崎競馬場を各務原に誘致して公認競馬場にする予定でした。しかし、種々の政治問題が絡んで不調に終わったため、方針を経営不振の高須競馬場を買収することに変えて交渉を進めました。この交渉も地元の反対にあいましたが、何とか成功し、昭和6年、近代競馬場が設置されるに至りました。

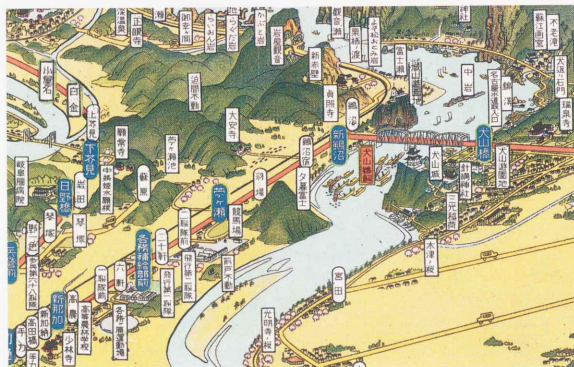
昭和10年に発行された名岐鉄道全線名勝鳥瞰図には、零ヶ瀬駅の南に競馬場が描かれています。この年の各務原競馬場は、春秋各4日間の開催で22万人余の入場者がありました。1日平均で2万8,000人の入場者を集めたことになりましたが、この数字から当時の人気の程をうかがうことができます。

入場者数に加えて、この時期の出走馬数もピークを迎えます。昭和10年と11年は、どちらも延べ388頭の馬が出走しています。宇野家文庫にある「昭和11年春季 各務原競馬会登録馬血統一覧表」(148号文庫)をもとにして、当時の競走馬の産地や年齢構成を調べ

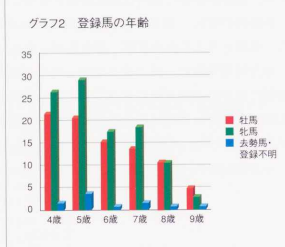
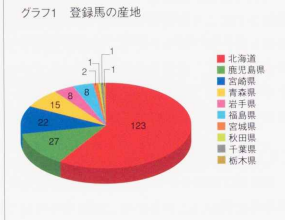
てみると、グラフ1、グラフ2のようになります。

まず、昭和11年段階における各務原競馬会の登録馬数は208頭に及んでいます。これを産地別にみると、北海道が圧倒的に多く、その数は123頭で全体の59%を占めています。道内でも静内郡産が16頭もあり、他を圧倒していました。このあとに鹿児島県、宮崎県といった九州勢が続きました。

次に、牡・牝別の年齢構成をみると、どちらも4、5歳馬が多く登録されていたことが分かります。地方競馬規則の第9条は、出走馬の年齢を原則として4歳から7歳までと定めました。したがって8歳馬23頭、9歳馬9頭の登録については、この原則にあてはまらないことになります。第9条は、明け8歳以上の馬は地方長官の認可をうけ、さらに競馬場所在の府県内に出走日まで引き続き3ヶ月以上飼育した場合に限り、出走を可としました。条件付きの年齢許容範囲があったわけです。



名越鉄道全線名勝鳥瞰図の一部



競馬開催期間は年2回ありましたが、馬に負担がかからないことを考えて、たいていは競馬場の近くに飼育場が設けられました。付近の農家が敷地内に厩舎を建てて、飼養の便宜を図ったという話を聞きます。競馬開催前は、農家にとっても臨時の収入が得られる絶好の機会であったようです。

このように、200頭を超す登録馬によって各務原の競馬は成り立っていました。ちなみに宇野領三は昭和11年段階で「ダイニイチヒメ」という内国産洋馬(牝馬)を所有していました(148号文書、45番の馬)。まだ4歳の若い馬です。各務原における戦績は分かりませんが、翌12年11月21日に行われた秋季笠松競馬会では第7レースにおいて優勝し、賞金110円を獲得しました。

しかし、各務原競馬の隆盛は一時的にしか続きませんでした。昭和14年の軍馬資源保護法制定により、県内の競馬場は1ヶ所のみとなり、各務原競馬場は笠松へ統合されることになったのです。

(5) 競走馬の入手方法

領三の競走馬入手方法は、購入と借用の二通りがありました。購入は、馬の所有者に交渉して代金を支払うというものであり、借用は軍の貸付馬を借り受けるというものでした。

はじめに購入による入手方法を見てみましょう。
前述した第二春駒号は昭和4年9月ごろ、領三が購入した5歳馬です。同じ時期、早風号という馬にも関心があったようで、牛馬商の野村安吉から千円で売却できるという知らせを受けています(26号文書)。北海道産の3歳馬でしたから、競走馬としてこれから飼養していこうと思っていたのでしょうか。この馬は程なく領三のもとに届けられましたが、翌5年3月、再び売りに出されます。領三は、早風号を同年6月30日までに交換及び売買するよう野村安吉に委託したのです(28号・29号文書)。委託文書に金額が記載されていないのは、売却が決まった時点で書き入れることにしたのでしょうか。さらに、早風号を預かった証拠として、野村は金額が記載されていない借用金証書を残したものと思われます。入手したばかりの若い馬を手放す理由は、残念ながら判然としません。競走能力がある馬に換えようとしたのか、それとも売却利益を得ようとしたのか。このあたりが理由ではないかと思われます。

昭和9年7月、岐阜県畜産組合連合会は、地方競馬出走を目的として新馬を購入するときには金100円以内の奨励金を交付すると都畜産組合に通知しました(8号文書)。購買予定の馬は、宮崎県産及び鹿児島県産とし、一頭あたり400円になると伝えたのです。さらに同年9月の追加文書によって、購入金400円を前もって納入するよう言い渡しました(9号文書)。領三が、奨励金を受けて新馬購入に踏み切ったかどうかは分かりませんが、前述の「ダイニイチヒメ」は鹿児島県産であることから、このときに同馬を購入したと考えることもできます。いずれにせよ、競馬場の主催者である岐阜県畜産組合連合会は、馬事思想の普及と発達を図るために、このような促進策を講じ、競馬場を運営していたのです。

次に、軍の貸付馬について見てみましょう。

昭和2年、領三は野砲兵第三連隊から森ノ奥号という10歳になる馬を借り受けていました。しかし前肢の怪我により使役に耐えられない事情が発生したため、翌3年9月領三は貸し主に獣医の来診を依頼します(18号文庫)。この依頼を受けて、野砲兵第三連隊は、留守第三師団長曾田孝一郎に所属獣医の出張を申請しましたが、これは認可されず、「使役二堪へサルモノトセハ、返還ノ手續ヲ採ルコト」と逆に命じられました。さらに領三の書類申請が、筋を通していなかったため、「本人一市町村一警察一管理者」という順で書類を取り扱うように指示されました(19号文庫)。結局、領三の申請は叶えられず、森ノ奥号は同年11月村役場へ返還することになりました(20号文庫)。この馬が何のために貸し出された

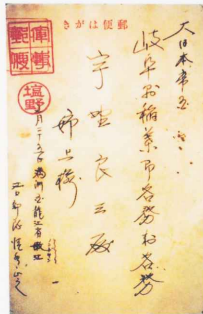


のか分からない点もありますが、おそらく軍馬の鍛錬が目的であったと思われます。領三は、森ノ奥号を借り受けて、競馬に参加することを考え始めていたのではないのでしょうか。

このように、同一の馬を長期にわたって飼養することではなく、購入や借用によって、新しいものに替えていったのです。しかし、領三の馬所有に関する史料は、各務原競馬場の廃止以降、何も残っていません。領三の競馬熱は、軍靴の音が大きくなるにつれて、次第に冷めていったものと思われます。しかし、左のような愛蔵の絵馬を時々出しては近所の人と談笑したといえますから、どこかで競馬のことを懐かしく思っていたのかもしれない。

(6) 軍事郵便

一方、領三の夫人志津恵は、出征した実弟の清水正之や正之の上官にあたる人物から、何通かの手紙を送られています。これらは「軍事郵便」と呼ばれるもので、姉弟の間で頻繁に連絡を取り合っていたことが分かります。ちなみに戦地から内地へ宛てた場合の基本料金は、封書4銭・葉書2銭でしたが、「軍事郵便」は無料扱いでした。



正之からの葉書

郵便物の文面から、正之は、昭和13年(1938)の徴兵で陸軍に入隊し、朝鮮半島や中国東北部に駐留していたと思われます。昭和2年公布の兵役法は、陸軍の現役服務期間を2年と規定しましたが、このころは3年間に延長されていたようです。正之は、内地をしばらく離れて、兵役に服さなければなりませんでした。

配属は、①朝鮮平壤藤本部隊草野隊、②龍江省(黒竜江省)嫩江服部部隊杉山隊、③龍江省嫩江口部隊、④黒河省孫呉大里部隊柳生隊と変わりました。服部部隊に

転属したとき、「三年兵を送り出して初年兵を迎えて見ると入隊したのがつい先達の様な気がします」と姉に伝えています(45号文庫)。また江口部隊に移ってからも、「私達も六月一日付をもって陸軍歩兵一等兵に進級し、又二十二日で一期の検閲も済、又幾分案になりました」と葉書で知らせています。新兵の時期は、相当気を遣っていたのでしょう。後輩の新兵が入隊し、自身が一等兵に進級して、ようやく楽な気持ちになったと吐露しています。正之の隊は、2期目に機関銃の扱い方を、3期目に通信方法を訓練させたようです(57号文庫)。

このような弟を心配して、姉の志津恵は所属の部隊長や班長の名前を聞き出しては、慰問の品物を送り、弟に対する指導・援助について依頼をしたと思われます(45号文庫)。

草野隊の伊東忠雄は、正之の兵役に励む姿を「壮健にて第一線の歩哨に鉄帽の姿勇ましく」と賞しながらも、「御厚志有難く頂戴致しましたが、爾後は斯かる品物を」送らないようにと返事してきました(40号文庫)。夫の領三が「水車屋」を営み、物資を入手しやすい環境にありましたから、煙草や食料品などを送ることができたのでしょう。志津恵は弟の配属がかわる度に慰問の品物を部隊へ送りました。江口部隊は「遠路わざわざ御書面並小包迄御送付下され、有難く頂戴仕り幹部揃って美味しく戴きました」と礼を述べ、正之の様子を「今では一人前の兵隊さんになり、さらに武技の練磨に邁進中」につき安心してほしいと伝えました(56号文庫)。同部隊の杉山三男も、志津恵あてに正之の活躍を知らせる手紙を送りました(57号文庫・60号文庫)。上官から弟の近況を聞いては、ほっと胸をなで下ろす姉の姿が目につかぶようです。

正之は、大きな戦闘に巻き込まれることなく除隊の日を迎えることができました。58号文書は、除隊後の就職について正之自身の希望を伝えた手紙です。まだ決めかねている面もありますが、「就職の件は既に東京の兄や元元の親に依頼してある如く私の意も在満」と知らせているように、満州で働くことが正之の本意であったと思われます。軍部の力で



清水正之の配属先関係図

日本の支配地域が拡大したところのことです。新たな仕事を大陸に求めることが、若い人たちの大志であったかもしれません。

姉の志津恵は、弟から「一層の御自愛を祈ります」と心配されているように、このころ体調を崩してしまい、昭和15年12月6日、帰らぬ人となりました。享年40歳、あまりにも若すぎる死でした。

各務村 水車屋の得意先掛売状況(昭和14年当時)

地区	得意先	掛売金額 円	覚え書き	決済の確認 期収済みの有無	入金額 円	対掛売金率%	
会 本	1	35,555	不足				
	2	29,950	不足 内1円入る		1,000		
	3	6,170	不足				
	4	2,500	不足				
	5	9,020	不足 内5円入る		5,000		
	6	56,770	内16円77銭入る		16,770		
	7	43,860					
	8	13,080					
	9	15,650			有	15,650	
	10	1,480					
	11	5,030					
	12	25,800	内10円入る			10,000	
	13	12,280			有	12,280	
	14	1,070					
	15	64,940					
	16	47,060					
	17	3,730			有	3,730	
	18	16,000			有	16,000	
	19	4,270			有	4,270	
	20	19,310			有	19,310	
	21	12,250			有	12,250	
	22	3,000			有	3,000	
	23	19,670			有	19,670	
	24	1,370			有	1,370	
	25	690			有	690	
	26	4,030			有	4,030	
	27	82,460			有	82,460	
	28	11,490			有	11,490	
	29	13,150			有	13,150	
	30	12,110			有	12,110	
	31	2,200			有	2,200	
	32	268,550			有	268,550	
	33	1,280					
	34	870			有	870	
	35	255,110			有	255,110	
計		1,101,755			790,960	回収率 72	
小 須 衛	36	1,500	不足				
	37	18,440	不足				
	38	5,000					
	39	25,118	不足				
	40	19,600	不足				
	41	12,220	不足				
	42	28,580	不足				
		3,240					
	43	9,290	不足				
	44	36,370	不足 内10円入る		10,000		
	45	1,490	不足		有	1,490	
	46	14,230	不足 内5円入る		5,000		
	47	13,720	不足		有	13,720	
	48	25,000	不足 内5円入る		5,000		
	49	18,040	不足 内5円入る		5,000		
	50	13,150	不足 内10円入る		10,000		
	51	43,070	不足 内10円入る		10,000		

	52	6,100	不足 内3円入る		3,000	
	53	3,950		有	3,950	
	54	7,830		有	7,830	
	55	3,880		有	3,880	
	56	6,400		有	6,400	
	57	29,380		有	29,380	
	58	530		有	530	
	59	10,150		有	10,150	
	60	2,840		有	2,840	
	61	2,990		有	2,990	
	62	3,680		有	3,680	
	63	4,150		有	4,150	
	64	770		有	770	
	65	4,100		有	4,100	
小 計		374,808			143,860	回収率 38
北 島	66	39,330	不足 内2円50銭入る		2,500	
	67	11,470	不足 内5円入る		5,000	
	68	7,030	不足	有	7,030	
	69	29,700	不足			
	70	15,320	不足			
	71	4,750	不足			
	小学校					
	72	25,210	不足 内20円入る		20,000	
	73	4,200				
	74	6,960	不足			
	75	5,350		有	5,350	
	役場					
	74	18,965	内10円入る		10,000	
	75	10,220				
	76	30,320	内5円入る		5,000	
	77	20,980		有	20,980	
	78	8,420		有	8,420	
	4,500		有	4,500		
79	3,970		有	3,970		
80	19,210	内17円50銭入る		17,500		
81	18,310		有	18,310		
82	22,100		有	22,100		
83	12,060		有	12,060		
84	22,280		有	22,280		
85	4,170					
86	3,320		有	3,320		
87	741,450	不足 内80円入る		80,000		
88	28,040		有	28,040		
89	35,390		有	35,390		
90	28,820		有	28,820		
91	300		有	300		
92	15,480		有	15,480		
93	21,490		有	21,490		
94	17,750		有	17,750		
95	800		有	800		
96	5,880		有	5,880		
97	3,820		有	3,820		
98	1,880		有	1,880		
99	8,410		有	8,410		
100	2,810		有	2,810		
101	5,920					
102			有			

	103	99,240	内60円入る		60,000	
	104	18,300				
小	計	1,383,925			496,690	回収率 36
宮前	105	82,955	不足			
	106	93,620	不足			
	107	218,000	不足			
		26,270				
	108	4,210	不足			
	109	24,920	不足			
	110	18,600	内5円入る		5,000	
	111	40,000	内10円入る		10,000	
	112	6,640	不足	有	6,640	
	113	1,580		有	1,580	
	114	13,480		有	13,480	
	115	1,270		有	1,270	
	116	8,480		有	8,480	
	117	30				
	118	20,010		有	20,010	
	119	6,580		有	6,580	
	120	3,850		有	3,850	
	121	10,270		有	10,270	
	122	8,880		有	8,880	
	123	14,910		有	14,910	
	124	160		有	160	
	125	8,080		有	8,080	
	126	5,030		有	5,030	
	127	13,990		有	13,990	
	128	800		有	800	
	129	39,320		有	39,320	
	130	8,580		有	8,580	
	131	83,350	内25円入る		25,000	
小	計	763,865			211,910	回収率 28
洞	132	12,370	内5円37銭入る		5,370	
	133	37,000	不足			
	134	10,840	不足			
	135	56,350	不足			
	136	39,790	不足 内11円50銭入る		1,500	
	137	54,180	内11円60銭入る		11,600	
	138	27,990	不足 内10円入る		10,000	
		20,000	無賃 内妻一俵入る			
	139	9,760		有	9,760	
	140	2,300	不足			
	141	800		有	800	
	142	53,350	内30円入る		30,000	
	143	1,000		有	1,000	
	144	7,500		有	7,500	
	145	61,900	内45円入る		45,000	
	146	4,950		有	4,950	
	147			有		
	148	5,520		有	5,520	
	149	280		有	280	
	150	65,830		有	65,830	
	151	8,400		有	8,400	
	152	14,540		有	14,540	
	153	17,080		有	17,080	
	154	10,850		有	10,850	
	155	10,770		有	10,770	

	156	11,180		有	11,180	
	157	320		有	320	
	158	10,520		有	10,520	
	159	29,960				
	160	20,720		有	20,720	
	161	6,470		有	6,470	
	162	2,190				
	163	5,410		有	5,410	
	164	3,440		有	3,440	
	165	5,640		有	5,640	
	166	17,430		有	17,430	
	167	720		有	720	
	168	530		有	530	
	169	250		有	250	
	170	150		有	150	
	171	1,740		有	1,740	
	172	3,660		有	3,660	
	173	3,300		有	3,300	
	174	5,130		有	5,130	
	175	7,090		有	7,090	
	176	7,080		有	7,080	
	177	2,420		有	2,420	
小	計	678,700			373,950	回収率 55
城之屋敷	178	53,315	不足			
	179	9,850	不足 内80銭入る		800	
	180	82,500	不足			
	181	3,000				
	182	26,660	不足			
	183	30,530	不足			
	184	45,355	不足			
	185	5,850	不足			
	186	101,710	不足			
		2,150				
	187	11,100				
	188	20,085	不足			
	189	18,870	不足			
	190	7,450		有	7,450	
	191	5,480	不足	有	5,480	
	192	9,920	内5円入る		5,000	
	193	5,640		有	5,640	
	194	23,570		有	23,570	
	195					
	196	9,130		有	9,130	
	197	8,590		有	8,590	
	198	27,630		有	27,630	
	199	7,640		有	7,640	
	200	2,130	不足	有	2,130	
	201	4,770		有	4,770	
	202	1,340		有	1,340	
	203	7,840		有	7,840	
	204	9,000		有	9,000	
	205	22,900		有	22,900	
	206	1,190		有	1,190	
	207	17,480		有	17,480	
	208	49,920	内40円入る		40,000	
	209	4,570		有	4,570	
	210	24,240		有	24,240	

	211	2,710		有	2,710	
	212	520		有	520	
	213	3,250				
	214	5,560		有	5,560	
	215	1,430		有	1,430	
	216	4,690		有	4,690	
	外二	150	車や分	有	150	
	217	21,740		有	21,740	
	218	233,760				
	219	9,880		有	9,880	
	220	560		有	560	
	221	290				
小	計	945,945			283,630	回収率 30
木子(木戸)	222	8,400	不足			
	223	6,500				
	224	30,000	不足			
		13,650				
	225	153,310	不足			
		380				
	226					
	227	5,890	内2円50銭入る		2,500	
	228	35,480		有	35,480	
	229	18,860				
	230	35,310		有	35,310	
	231	6,010		有	6,010	
	232	93,130	内23円13銭入る		23,130	
	233	15,450		有	15,450	
	234	23,190		有	23,190	
	235	24,730		有	24,730	
	236	10,120		有	10,120	
	237	1,370		有	1,370	
	238	37,140		有	37,140	
	239	7,870		有	7,870	
	240	17,680				
	木子組	200		有	200	
	241	890		有	890	
小	計	545,560			223,390	回収率 41
カイス池	242	21,975	不足			
	243	2,910				
	244	86,020				
	245	23,390				
		10,930				
	246	25,280				
	247	59,000				
	248	33,860	不足			
	249	9,400		有	9,400	
	250	23,770	内15円入る		15,000	
	251	6,780		有	6,780	
	252	2,920				
	253	2,000		有	2,000	
	254	2,200		有	2,200	
	255	7,700		有	7,700	
	256	12,060				
	257	20,000		有	20,000	
	258	4,000		有	4,000	
	259	20,610		有	20,610	
	260	1,710		有	1,710	

	261	1,470		有	1,470	
小	計	377,985			90,870	回収率 24
山之前	262	25,000	不足 内2円入る		2,000	
	263	14,755	不足 内2円入る		2,000	
	264	4,150	不足			
	265	56,710	不足 内64銭小麦分引			
	266	5,500	内20銭入る		200	
	267	9,000				
小	計	115,115			4,200	回収率 4
西組	268	5,000	不足			
	269	4,950	不足			
	270	30,040				
	271	2,350				
	272	4,390	不足			
	273	26,410	内10円入る		10,000	
	274	27,780	内10円入る		10,000	
	275	22,590	不足 内10円入る		10,000	
	276	400		有	400	
	277	1,900		有	1,900	
	278	10,430				
	279	2,250		有	2,250	
	280	6,200		有	6,200	
	281	4,000		有	4,000	
	282	3,000				
	283	9,790		有	9,790	
		1,000	コート仕立代	有	1,000	
	284	10,130		有	10,130	
	285	1,500		有	1,500	
小	計	174,110			67,170	回収率 39
雑所	286	10,340	不足			
	287	21,200	不足 内50銭		500	
	288	5,240	不足			
	289	2,900	不足			
	290	180				
	291	3,900	不足			
	292	74,485	不足			
	293	77,320	不足			
		2,450				
		7,200				
		26,000				
	294	675	不足			
	295	31,000	不足			
	296	4,300	不足			
	297	187,940	不足			
		61,800	十二年之分			
	298					
	299	73,140	内30円入る		30,000	
	300	13,485	不足			
	301	9,000				
	302	700				
	303	10,280				
	304	7,000				
	305	10,830	不足			
	306	15,100		有	15,100	
	307	9,090		有	9,090	
	308	28,240		有	28,240	
	309					

	310	23,040		有	23,040	
	311	39,130				
	312	273,240				
	313	21,310	不足 内5円入る		5,000	
	314	43,940				
	315			有		
	316	7,750		有	7,750	
	317	8,020		有	8,020	
	318	1,430				
	319	29,110		有	29,110	
	320	11,050		有	11,050	
小	計	1,151,815			166,900	回収率 14
合	計	7,613,583			2,853,530	回収率 37

注 この掛売帳に記載されている個人名はすべて番号にした。小学校、役場及び組の名称は原本のままとした。

宇野尹久子家文書

番号	年	月	資料名	備	考
国と県関係					
1	年未詳		郵便規則変更の案内		通信省
租税関係					
2	昭和3年4月10日		昭和2年度相続税(18円84銭)領収証書		岐阜県各務郵便局長から宇野領三あて
3	昭和3年4月10日		昭和2年度相続税(19円66銭)領収証書		岐阜県各務郵便局長から宇野領三あて
4	昭和8年		昭和8年度県税・村税など領収証(一括7通)		
村関係					
5	昭和3年6月8日		各務村会議員当選告知書(発第1063号)		各務村長澤井謙之進から宇野領三あて
6	昭和4年11月12日		各務村議会議案綴り		第39号 役場敷地ヲ道路敷地ニ地上スルノ件はか
勸業関係					
7	昭和6年4月22日		稲葉煙草小売組合総会議案		
8	昭和9年7月18日		地方競馬出走新馬購入二間スル件(雷連第184号)		岐阜県畜産組合連合会から郡畜産組合あて
9	昭和9年9月4日		地方競馬出走新馬購入二間スル件(雷連第184ノ1号)		岐阜県畜産組合連合会から郡畜産組合あて
運輸関係					
10	昭和14年6月		各務ヶ原線時刻表		名古屋鉄道株式会社 長住町一町間沿間
11	昭和14年12月		西部線 時刻表		名古屋鉄道株式会社
社寺教育関係					
12	昭和13年10月		岐阜県下中等学校連合演習の票葉茶二発紛失につき届書		五年一組宇野俊道から岐阜商業学校校長山頭一あて
13	昭和15年9月9日		農業部第四学年育苗実習の実施につき通知		財団法人 農業学校校長 中川前志郎から関係保証人あて
14	昭和15年		愛知県立山高等女学校校友会領収書		宇野千恵子あて
15	年未詳		静岡県立農事試験場本場概覧		
家関係					
16	大正3年10月26日以降		手帳(所有者 岐阜県稲葉郡各務村役場 書記・総務課 宇野貞三)		
家産関係					
17	昭和3年1月1日		全員借用証書(金450円)		足三郎から宇野領三あて
18	昭和3年9月30日		貸付予備馬罹病二付獣医来診ノ件		宇野領三(借受人)から名古屋野務兵補佐隊長藤崎芳一あて ※1
19	昭和3年10月2日		貸付馬診断為出張致度件申請		野務兵第三連隊長藤崎芳一から留守第三師団三隊長 曾田孝一郎あて、指合の付添あり ※2
20	昭和3年11月15日		貸付予備馬返還ノ件通牒(留三散発第320号)		留守第三師団参謀長から宇野領三あて
21	昭和4年1月17日		電信為替金受領証書(金500円)		
22	昭和4年1月17日		電信為替金受領証書(金100円)		
23	昭和4年1月17日		電信為替金受領証書(金500円)		
24	昭和4年2月14日		入金通知書(金220円)		各務信用購買販売組合から宇野鶴吉あて
25	昭和4年6月15日		領収書(金45円24銭)		各務信用購買販売組合から宇野鶴吉あて
26	昭和4年9月24日		売渡書(栗毛三才馬早風号千円にて売却仕り候)		野村安吉から宇野領三あて
27	昭和4年		貸付金利子納付の通知書		各務産業組合から宇野鶴吉あて
28	昭和5年3月17日		借用金証書(金額未記入)		野村安吉から宇野領三あて
29	昭和5年3月17日		馬(早風号)の売却につき委託書(金額未記入)		野村安吉から宇野領三あて
30	昭和4年1月29日		領収書(金100円)		各務信用購買販売組合から宇野鶴吉あて

宇野尹久子家文書

番号	年 月	資 料 名	備 考
31	昭和5年6月16日	領収書(金31円23銭)	各務村信用購買売組合から宇野鶴吉にて
32	昭和9年10月18日	競走新馬購入残金返却ノ件通知	岐阜馬術連合会より
33	(年未詳)12月24日	赤ロイカイ五百目など注文書	宇野丑吉から美濃町人赴きて
34	年未詳	北陸視察不足分金1円44銭など納入通知書	宇野鶴吉にて(農業調査表の裏面使用)

生活と文化関係

35	昭和16年3月8日	陸軍上等兵杉山浩道君村葬式次第	
36	年未詳	倉知村氏神祭典の案内状	武儀郡倉知村後藤宗彦から宇野良三にて
37	(年未詳)11年5月11日	人馬共に無事到着につき葉書	滋賀県東大郡新井山 川原直次郎方林正から宇野鶴吉にて
38	昭和3年10月20日	手紙(村上特務曹長から宇野領市(ママ)にて) 野砲兵第三連隊補充隊 村上特務曹長の封筒あり	※1 9/2が入っていた封筒
39	昭和4年10月9日	貸付馬二関スル件通知(別紙欠)	各務村長澤井達之進から宇野鶴吉にて
40	昭和13年9月22日	慰問の御厚志に対して礼状	朝鮮平壤隊本部隊草野隊伊東忠雄から宇野静子にて
41	昭和14年1月1日	年賀状	江口部隊歩兵曹杉山三男から宇野静子にて
42	昭和14年1月1日	年賀状	朝鮮平壤隊本部隊草野隊伊東忠雄から宇野静枝にて
43	昭和14年4月8日	冗費節約 国民貯蓄勸行につき葉書	倉知村清水高市から宇野良三にて
44	昭和14年4月15日	氏神祭典7名参加の件承知につき葉書	倉知村後藤宗彦から宇野良三にて
45	昭和14年5月24日	隊の班長に礼状送付を願うにつき手紙	龍江省嫩江野砲隊清水正之から宇野領三夫妻にて
46	昭和14年7月8日	戦況ならびに銃後の連絡依頼につき通知	第七ノ一野戦自動車連隊長祝峰彦から後藤才五郎にて
47	昭和14年12月13日	牛島部隊弓掛隊着任につき葉書(軍事郵便)	山口東一から後藤才五郎にて
48	昭和15年1月4日	年賀状	大阪市後藤政一から宇野鶴吉にて
49	昭和15年1月	年賀状	満洲国東河省孫兵大里部隊衛生隊杉山三男から宇野静枝にて
50	昭和15年1月	年賀状の返礼につき手紙	東河省孫兵大里部隊衛生隊清水正之から宇野領三夫妻にて
51	(年未詳)1月20日	急病の息子除隊・帰郷を許可されたことについて礼状(下書き)	後藤才五郎から高橋重雄にて
52	(年未詳)3月9日	討伐の成果報告などにつき手紙	東河省孫兵大里部隊衛生隊清水正之から宇野領三夫妻にて
53	(年未詳)6月17日	書状に対する返事及び第三子の息の鳴きぶりにつき手紙	丸高出町スアから宇野鶴吉にて
54	(年未詳)6月16日	北滿州孫兵駐留の様子報告及び姉見舞いにつき手紙	清水正之から宇野領三夫妻にて
55	(年未詳)6月25日	大隊本部派遣後の様子などにつき葉書	江口部隊清水正之から宇野良三夫妻にて
56	(年未詳)9月12日	部隊の清水正之入隊以来健康で誠実に服務につき手紙	江口部隊福田進對から宇野静子にて
57	(年未詳)9月22日	慰問袋送付のお礼などにつき手紙	江口部隊杉山三男から宇野静子にて
58	(年未詳)9月25日	滿州除隊後の就職先希望につき手紙	弟(清水正之)から弟(宇野静子)にて
59	(年未詳)11月16日	息子の就職先決定につき保証人入用の件依頼状	宇野鶴吉から後藤政一にて
60	(年未詳)12月17日	慰問袋の送付に対して礼状	江口部隊杉山三男から宇野静子にて
61	年未詳	封筒(黒河省孫兵大里部隊本部清水正之から宇野領三夫妻にて)	
62	年未詳	名古屋羽幸商店封筒(宇野鶴吉にて)	封筒のみ
63	年未詳	慰問袋送付のお礼などにつき手紙(小山樺司)	
64	年未詳	出征兵に対する手紙(下書き)	
65	年未詳	慰問の手紙(下書き)	愛国婦人会長宇野静子
66	年未詳	封筒(各務村役場から宇野領三にて)	2点 封筒のみ
67	年未詳	封筒(各務郵便局から宇野良三にて)	封筒のみ
68	年未詳	封筒(「キドン」馬籍在中)と墨書あり)	封筒のみ
69	年未詳	封筒(江口部隊中澤武男から宇野静子にて)	封筒のみ
70	年未詳	息子復道費店舗入社以来格別の指導につき礼状(案)	
71	年未詳	服部部隊長及び同部隊杉山軍曹の宛名につき手紙(断簡)	
72	年未詳	金井部隊梅田隊の任地到着の挨拶につき葉書	長崎陣中から宇野領三にて
73	年未詳	重用書類	封筒のみ

宇野尹久子家文書

番号	年 月	資 料 名	備 考
74	年未詳	岐阜競馬倶楽部の名入り封筒	封筒のみ 「ツルネク」とある
75	明治28年12月18日	両面飯と真	金池堂 宇野良三の署名有り
76	明治29年	艶容女舞衣 酒屋の段	
77	明治40年2月18日	水戸黄門奇行談	大学館
78	明治41年4月5日	花川戸助六	中川玉成堂
79	明治44年5月25日	通俗武士道 一心大助	求光閣書店
80	昭和45年5月20日	掌中 都々逸集	岡村庄兵衛 再版
81	大正2年4月10日	佐野鹿蔵	中川玉成堂 「武士兄弟俱用物 各務村中組 城之屋敷 所有長崎備一 左高麗二」とあり
82	大正2年11月9日	人一代の運勢	史傳堂
83	大正5年6月	婦人宝典	大日本女子会
84	大正6年1月1日	談話とお伽噺	新愛知新聞社 元日附録
85	大正6年7月20日	徳川又一坊	「大正七年一月元旦新聞 稲葉郡各務村各務農組木下区 宇野鶴三蔵書」とあり
86	大正8年9月1日	文芸倶楽部 九月号	
87	大正9年1月10日	情體の葉	有田ラック高田出版部 再版
88	大正9年7月1日	新婦人 七月号	家新聞社
89	大正14年2月15日	歡喜 第23号	歡喜社
90	昭和3年4月23日	純義大夫全書	日本古典集刊発行会
91	昭和4年9月10日	新英和辞典	研究社 「純義第二十番 宇野領三」とあり
92	昭和9年11月5日	家の光 第10巻 第12号	産業組合中央会
93	昭和9年12月1日	世界陸海軍大画帖	大日本雄弁会講社
94	昭和10年12月1日	家の光 第11巻 第13号	産業組合中央会
95	昭和12年6月1日	写真雑誌カメラ 第18巻 第6号	ARS
96	昭和13年2月15日	参考 古語辞典	中文館書店
97	昭和13年4月1日	良国民 第13巻 第4号	浅井忠吉
98	昭和13年5月20日	忍術乱劇 甲賀復讐丸	梅本書店
99	昭和14年9月1日	報徳 第二十九巻 第九号	財団法人 報徳会
100	昭和15年5月10日	岐阜国防婦人 第30号	岐阜連隊区指令部内 大日本国防婦人会岐阜地方本部
101	昭和15年6月18日	岐阜国防婦人 第31号	岐阜連隊区指令部内 大日本国防婦人会岐阜地方本部
102	昭和15年7月1日	岐阜国防婦人 第32号	岐阜連隊区指令部内 大日本国防婦人会岐阜地方本部
103	昭和15年10月1日	週刊朝日 秋季特別号	大阪朝日新聞社
104	年未詳	(表紙欠)朝顔日記ほか	
105	年未詳	豊川利生記(慶安太平記)	新愛知新聞社
106	年未詳	皇国の譚り	大阪朝日新聞社
107	年未詳	絵本大功記	「各務村 五幡職重部」とあり
108	年未詳	太功記 尼ヶ崎の段	天満屋安兵衛
109	年未詳	一谷敏軍記 須磨浦の段	玉木源次郎新版
110	年未詳	玉藻前	道春館印
111	大正3年3月25日	作文達成 新撰書翰文	修文館 「宇野領三蔵書」
112	昭和13年1月1日	地理概説	学録研究社
113	昭和16年9月20日	昭和新女子修身訓 四年制用 巻四	中等学校教科書株式会社
114	昭和16年11月10日	現代女子手紙文 候文と口語体	教育図書出版社
115	昭和13年5月31日	新愛知	(破れあり)
116	昭和13年5月31日	大毎小学生新聞	大阪毎日新聞社
117	昭和13年12月20日	大毎小学生新聞	大阪毎日新聞社

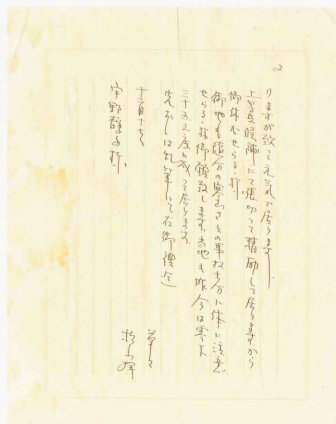
宇野尹久子家文書

番号	年 月	資 料 名	備 考
118	昭和13年	新聞切り抜き(「辻上等兵の烈な最期を讃ふ」 匿名の一女性が心情吐露)	
119	昭和14年1月25日	大塚小学生新聞	大塚毎日新聞社
120	昭和15年1月1日	一味 第165号	一味会(愛知県津島町)
121	昭和27年5月11日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
122	昭和27年5月14日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
123	昭和27年5月16日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
124	昭和27年5月17日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
125	昭和27年6月7日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
126	昭和28年4月3日	デイリースポーツ	
127	昭和28年4月12日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
128	昭和28年4月14日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
129	昭和28年4月19日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
130	昭和28年4月20日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
131	昭和28年4月23日	中部日本新聞 2点	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
132	昭和28年4月25日(5刊)	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
133	昭和28年4月26日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
134	昭和28年5月1日	中部日本新聞	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
135	昭和28年5月3日	中部日本新聞 2点	中部日本新聞社(簡型に綴付け)
136	昭和8年	軍用飛行機並銃類献納写真帖	愛知県
137	昭和9年10月10日	日光山写真帖	輪王寺門跡事務所
138	大正14年5月26日	馬匹血統書(第二春駒号)(写)	青森県三戸郡八戸産馬畜産組合
139	大正15年12月20日	血統証明書(平屋号)	福島種馬所
140	昭和3年11月12日	馬籍(浦川号)	岩手県九戸郡軽米町長 川村羊助調証
141	(昭和3年)	兵庫県畜産連合会競馬会あて騎馬出場申込書書式	
142	昭和4年3月	昭和四年春季競馬会予定番組及賞典表	
143	昭和4年3月	競馬会案内状	兵庫県畜産組合連合会長飯塚重雄から
144	昭和4年9月	昭和四年秋季競馬会既定番組表	主催 岐阜県畜産組合連合会
145	昭和5年11月20日	名古屋市中区末広町4番地の八木彦高第18号(封筒あり)	
146	昭和5年11月25日	昭和五年 秋季競馬番組	社団法人 京都競馬倶楽部
147	昭和8年5月23日	馬籍(中男号)	岐阜県海津郡大野町豊木村畜養村組合管理者 井家常治郎調証
148	昭和11年	昭和11年春季 登録馬血統一覽表	各務原競馬会
149	戦時期	喰わせて悪い食物	「有効保証家蔵常備薬」とあり
150	年末詳	安藤鐵工所 ノンフレット	
151	年末詳	愛知県畜産組合連合会名古屋競馬会あて出馬申込書書式	
152	年末詳	兵庫県畜産組合連合会競馬会あて出馬登録申込書書式	
153	年末詳	名刺(牛馬商 野村安吉)	裏面に借用書あり(宇野領三あて金25円)
154	年末詳	中折帽子の知識(帝国製帽株式会社)	
155	年末詳	作文「田舎の夕暮れ」	「一葉 宇野千恵子」と名前あり。競馬雑誌部原稿用紙使用

御弟正之君も長の討伐より帰り現在にては鉄道
守備の重任を帯びて、駅分遣にて勤務して居

宇野静子様

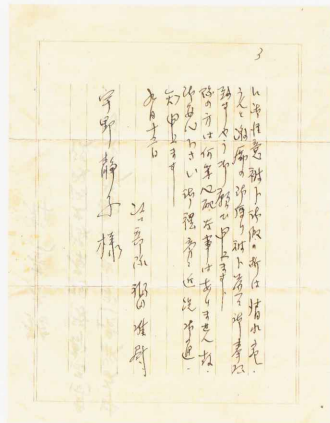
注 差出人は「満州龍江省嫩江 江口部隊 杉山三男」である。封筒に「軍事
郵便」「遼野」の押印がある。



りますが、致つて元気で居ります。
上等兵候補にて服切つて精励して居りますから
御休心せらるゝ様。
御地も随分の寒さとの事故、十分に体に注意
せらるゝ様御願致します。当地も昨今は零下
三十五六度に成つて居ります。
先ずは乱筆にて、右御礼迄。

十二月十七日 杉山 拝 草々

五七 慰問袋送付のお札などにつき手紙

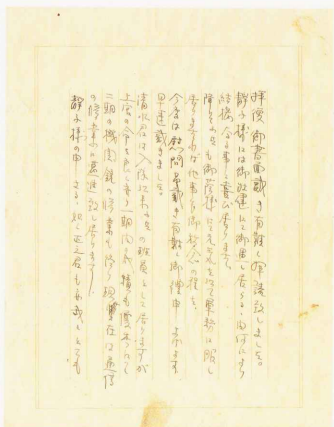


に御注意被下、御暇の折は清水宛
うんと激励の御便り被下、益々御奉公
致すやう御願ひ申上ます。
隊の方は何等心配な事はありません故、
御安心下さい。御礼券々近況御通
知申上ます。

九月十二日
宇野静子様

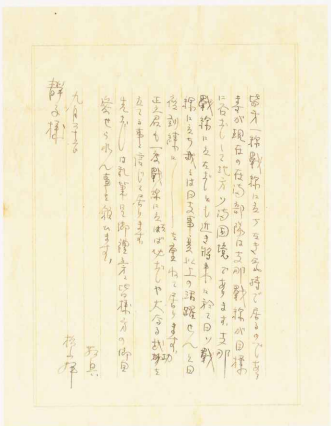
江口部隊 福田准尉

注 一軍事郵便の押印がある。このとき江口部隊は離江省龍江に駐屯した。



拝復、御書面戴き有難く拝読致しました。
静子様には御壮健にて御過し居らるゝ由、何により
結構なる事と喜び居ります。
降りて小兵も御蔭様にて元気を以て軍務に服し
居りますれば他事乍、御放念の程を。
今度は慰問品戴き有難く御礼申上げます。
早速戴きました。

清水君は入隊以来、小兵の班員として居りますが
上官の命を良く守り一期間の成績も優秀にて
二期の機関銃の修業も終り、現在は通信
の修業に邁進致し居ります。
静子様のお申さるゝ如く正之君も亦我々とても



皆第一線戦線に立ちたき気持で居るのであり
ますが、現在の在滿部隊は支那戦線が目標
に寄らずに北方の満州境であります。支那
戦線に立たずとも近き将来に於て日ソ戦
線に立ち、我々は日支事変以上の活躍せんと日
夜訓練に訓練を重ねて居ります。

正之君も一度戦線に立たば必ずや大なる武功を
立てる事と信じて居ります。
先ずは乱筆にて御礼券々皆様方の御自
愛せられん事を願ひます。

九月十二日
静子様

杉山 拝 敬具

注 差出人は「滿州龍江省龍江 江口部隊 杉山三男」である。封筒に「軍事郵便二杉山」の押印がある。

それに仏軍司令官が捕虜になり全く連合軍の態なしです。
それに次いで米国の参戦説、軍欧州の動乱は愈々本格
的となつて参りました。
(二行文 墨塗り)

千載一遇の秋に壮年期に達して何か大奮戦し
ようと思つても大した戦闘はなく全く子供の戦争
ゴッコと同じ様で何んだか物足りない気持ちです。
いつか大戦争に参加したい考へです。
次は以前班長だった杉山軍曹殿は現在も中隊に御出で
すけど、中沢軍曹殿は北支へ転隊して今隊に居られ
ません。中隊の幹部の方も大分変わりました。

杉山軍曹殿には相変らず御世話になつて居ます
から何卒よろしく御願ひ致します。
此処北滿も何も変わった事はありません。
只姉さんの全快を御祈りするのみです。

では今日は何に之にて。
皆々様によろしく。
姉さんも折角養生の上一日も全快の早からん事を
御祈りしてペンを置きます。
不 一
不肖 弟
六月十六日
姉上様

注 「軍事郵便」「平」検閲印の押印がある。差出人の所蔵は「黒河角孫兵大
里部隊衛生隊」である。

五六 部隊の清水正之入隊以來健康で誠実に服務につき手紙

遠路わざわざ御書面並小包送御送付被
下、有難く戴仕り幹部全員揃つて
美味しく戴きました。有難く厚く御
礼申します。内地は随分涼しくなりまし
たとす。又御一同様の御健在を御祝
び申します。北滿も目下朝夜寒さを
感ずる様になりましたが、今月の末頃に気
化御座りませんが、今月の末頃は急に気
温も低下し、相当寒くなる事と思ひま
す。でも室内は内地以上の温い室内故、

御心配な事はありません。
清水正之も入隊以來極めて健康に

て軍務に誠実に一生懸命服務致し、さらに武伎の
今では一人前の兵隊さんになり、さらに武伎の
練磨に邁進中、何卒御安心、御
悦び下さい。当地は何等平時を愛りなく、
皆元気で朝夕演習をやつてゐる次第で
す。御互ひ健康に注意して武伎の訓
練に精励せねばと健康のみ注意しま
す。健康あつて始めて御奉公が
出来る事故、健康より大切なものはあ
りません。御一同様も御健康に御注意
あられん事を御願ひ申します。
先は時候不順に向ふ折柄御健康

大陸の氣候の精か自分の氣までマンマンデー(満語で
 吾氣の意)になり、何んだか気分までゆたたりて来ました。
 自分で自覚してゐるのですけど生米の我假が出て来
 てどうも苦勞なしに育つて来た人間はこんな社会で
 は悲惨者です。
 先日討伐に出て行き小興安の山の中に入り、匪賊の正寨を
 見つけて数十名の匪賊を全滅し皆殺しにして意氣
 揚々として歸つて来ました。
 何しろ愉快な事でした。
 歸つて内務班に入るなり手柄話に花が咲いて早速故
 郷へベンを走らす者、消灯ラツパの鳴つたのも知らず語り
 続けている者、実に嬉しい状況です。
 今日日〇九日、三年兵の除隊式、善行証書、下士適
 任証を戴くもの、この長い三ヶ年の苦勞も忘れて本当

に嬉しそうです。正之達は来年之月一ヶ年の
 後の御奉公を奮闘致す覚悟です。
 明日は陸軍記念日、大演習で大多忙です。
 色々忙しいので今日は之で失礼致します。
 時節柄御身体大切に。
 では御元気で。
 不
 一
 不肖弟
 三月九日
 姉上様
 注 差出人は「黒河會孫興 大里部隊 柳生隊 清水正之」である。「軍事部
 便」様印である。

何時も乍ら御親切なる御手紙有難く拝見致しました。
 御便りに依れば御病氣との事、其の后如何ですか。
 早速御見舞に行きたいのですが、遠く幾千里を離
 れたる満州では、それで取敢へず御見舞の言葉
 大草連御送り致します。
 北滿興も愈々初夏が訪れて暑くない寒くない
 の本當に住み良い時期です。之から愈々極暑と戦ひ
 乍らの生活と思ふと苦痛を覚へます。
 然し一旦軍籍に身を置いた以上滅私奉公一意見

五四 北滿州孫興駐留の様子報告及び姉見舞いにつき手紙

何時も乍ら御親切なる御手紙有難く拝見致しました。
 御便りに依れば御病氣との事、其の后如何ですか。
 早速御見舞に行きたいのですが、遠く幾千里を離
 れたる満州では、それで取敢へず御見舞の言葉
 大草連御送り致します。
 北滿興も愈々初夏が訪れて暑くない寒くない
 の本當に住み良い時期です。之から愈々極暑と戦ひ
 乍らの生活と思ふと苦痛を覚へます。
 然し一旦軍籍に身を置いた以上滅私奉公一意見

忠の誠を致して居ります。
 めつさきり初夏らしくなつた街頭を歩くクーニヤンの
 足取りも軽やかに東亜健康説の礎定まつた満州

又目を転じて欧州に移すは独軍の勢物凄く
 バリーの陥落も目前に迫り後二十kmと云ふ電口作
 戦は実に驚異の外ありません。これに伊太の参戦に益々勢ついで独軍、連合軍
 は降伏か殲滅かの外無く実に痛快です。

何時も乍ら御親切なる御手紙有難く拝見致しました。
 御便りに依れば御病氣との事、其の后如何ですか。
 早速御見舞に行きたいのですが、遠く幾千里を離
 れたる満州では、それで取敢へず御見舞の言葉
 大草連御送り致します。
 北滿興も愈々初夏が訪れて暑くない寒くない
 の本當に住み良い時期です。之から愈々極暑と戦ひ
 乍らの生活と思ふと苦痛を覚へます。
 然し一旦軍籍に身を置いた以上滅私奉公一意見

隊も一同健にて候間、何卒安心
被下度、新年の賀詞申述へ御礼
申上奉候

頓首

正月

四五 隊の班長に札状送付を願うにつき手紙

御
班長殿
先づ、御挨拶申し上げます。御座りませぬか。不肖正之「不明」で御奉
公の一端に過致して居りますから、安心願ひます。
極寒零下三十余度の北満も節々暖かになつて来しました。

御「不明」す。
明日は「不明」で今日は之で失敬致します。
では御休大切に。
では左記の人々よろしく御願致します。

暫「不明」で居りました。
姉さん「不明」御変り有りませぬか。不肖正之「不明」で御奉
公の一端に過致して居りますから、安心願ひます。
極寒零下三十余度の北満も節々暖かになつて来しました。

不一
正之

班長殿
龍江省嫩江 服部部隊
陸軍歩兵軍曹 杉山三男殿 (栃木県の人)
部隊長殿
陸軍歩兵中尉 服部満之助殿 (仙台の人)
姉さん

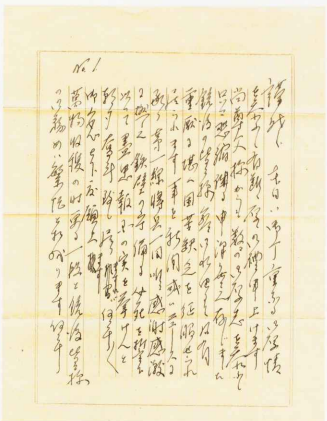
五二 討伐の成果報告などにつき手紙

先づ、御挨拶申し上げます。御座りませぬか。不肖正之「不明」で御奉
公の一端に過致して居りますから、安心願ひます。
極寒零下三十余度の北満も節々暖かになつて来しました。

絶へて久しく御無沙汰致して居りまして申訳ありません。
其の届御変りなく御禮の事と存じます。正之も相
変らず元気に呑気にやつて居ますから、他事乍ら御放
念願ひます。この呑気は余りにも徹底し過ぎた精か、人
生の修養道場たる軍隊生活に於て多大なる損害
でした。
然し軍隊に於ての軍規、風紀は正之には解釈不能、
不可怪極る言語です。字を解釈すれば字書を引
くまでもありませんが、然し軍隊に於の言葉として
考ふる時恐らく軍人として生活した人は疑問として
頭中にあるだろうと思ひます。正之評りが抱く疑問で
ないと思ひます。
段々暖くなつて参りましたが、まだまだ余寒□□く
防寒具を用ひなければ相当の寒さを感じます。

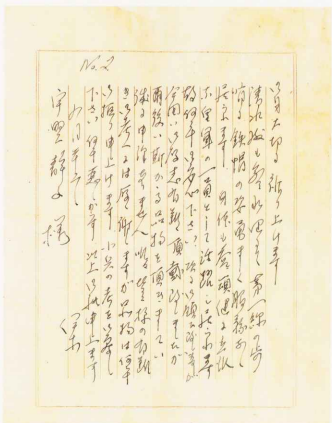
注 封筒に「軍郵便」の押印がある。投函日は昭和四年五月二十四日である。

四〇 慰問の御厚志に対して礼状



謹啓、本日は御丁寧なる御厚情を忝なく有難く厚く御礼申し上げます。尚、尊父様からも数々の御厚志を忝なく只々恐縮誠に申訳無く存じます。銃後の皆様、愈々御壮健にて為有重戦に堪へ困苦欠乏を征服せられ居られます事を新聞或はニュースに於り第一親將兵一同唯々感謝感激に燃え鉄壁の守備に必死を誓ひ

以つて尽忠報国の志を挙げんと朝夕奮闘致し居りますれば、何卒何卒御安心被下度願上します。万物取極の時更に一段と銃後皆様御務めは繁忙と相成ります。何卒



御身大切に祈り上げます。清水殿も愈々壮健にて第一線の歩哨に鉄帽の姿ましく服務よく居られます。身体も益々固健に立派な皇軍の一員として活躍し居ります。故、何卒御安心下さい。次に御願ひ致しますが、

今回は御厚志有難く頂戴致しましたが、爾後には斯かる品物を頂きましては

誠に申訳ありません。唯々皆様の有難き御考へには厚く謝しますが、品物は何卒御指り申上げます。小兵の考を御察し下さい。何卒悪しからず、以上御礼申上します。

九月二十二日
宇野静子様

伊東

四二年賀状

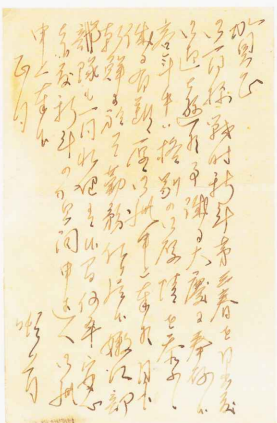


岐阜県
福業部各務村
宇野静子様

式錢切手

朝鮮平壤本部隊
音野隊

伊東忠雄



賀正
御一同様、戦時新年第三春を目出度御迎接遊敬事、誠に大慶に奉存候客年中は格別の御厚情を忝なく誠に有難く厚く御礼申上奉候。目下朝鮮に於いて勤務仕り居候、嫩江部

出庫の部	番号	登録番号	馬名	種類	性	毛色	年輪	産地	父	母	公認名
	193	382	ヤルムマ	アノ	騾	鹿	7	栃木県東郡村	アノ ダムウイ	ハノ雑 蕨栄	
	194	443	マツタ	アノ雑	北鹿	鹿	7	福島県田村郡	アノ ソウケン	サラ雑 第二公雄	
	195	6047	アノスヌター	アノ雑	牡青	鹿	5	北海道空知郡	アノ アケルミー	アノ雑 西風	
	196	4301	アノチミ	アノ雑	化鹿	鹿	6	北海道浦河町	アノ スヌスナル	アノ雑 朝星	
	197	6453	コトロー	アノ雑	化鹿	鹿	5	北海道釧路郡	アノ エコルシイ	内ノ口 行録	
	198	10975	ヤカシマアノウ	アノ雑	騾	鹿	5	北海道芽室村	アノ ルウツク	内ノ口 若島	
	199	6020	サウラキ	内洋	北鹿	鹿	8	北海道網走郡	内洋 山桜	内洋 扇星	
	200	3292	サニイ	雑	北鹿	鹿	8	北海道網走郡	ハノ雑 松風	雑 揚巻	
	201	3747	キツキチチハチ	アノ雑	化鹿	鹿	7	北海道釧路市	アノ ルイツク	アノ雑 竹風	
	202	5043	キノヒノゾ	内洋	騾	青鹿	6	北海道足寄郡	内アノ ケルビシ	内洋 第三高砂	
	203	12416	キツキツツマ	アノ雑	騾	青鹿	5	北海道釧路市	アノ ビーコン	雑 北松	
	204	1556	キツキチモロビツ	内洋	化鹿	青鹿	6	北海道網走郡	アノ ヘンジハメツ	内洋 勝千代	
	205	2789	キツキコヨ	内口雑	化鹿	青鹿	7	北海道静内郡	内ノ口 第十四ラビナス	ハノ雑 第四紅葉	
	206	11382	ミノコアオ	雑	騾	青鹿	8	北海道芽室村	アノ雑 第三中尾	内口雑 タイヤノ子	
	207	6025	シムカカ	サラ雑	化鹿	鹿	8	北海道厚岸郡	内サラ コラバウダポート	内口雑 菊川	
	208	4767	モツキ	雑	化鹿	鹿	9	北海道網走郡	内洋 春風	ハノ雑 イノ七	シムカカ モツキ

注) 原本は築書である。この建頁は、原本の漢数字をアラビア数字に改めて横組みにした。また「番号」は便宜上順集者が付けたものである。

史料編 (軍事郵便)

出庄の部	番号	登録番号	馬名	種類	性	毛色	年齢	産地	父	母	公認名	
馬内新馬之部	145	12208	ギョウキヤウリ	内洋	牡	栗	4	鹿児島県曾於郡	内フア	ウシノチー	内洋	アコヤ
	146	12217	ギョウホル	内洋	牝	鹿	4	鹿児島県肝藤郡	内フア	ロビシム	内洋	セイ
	147	8040	ギョウケイヌコシ	内洋	牝	鹿	5	宮崎県東諸県郡	ウラ	カシムルム	内洋	カメ
	148	12221	ギョウヒメスラビ	ウラ	牡	栗	4	鹿児島県肝藤郡	内フア	ロビシム	ウラ	ヌー
	149	12212	ギョウヤナミ	内洋	牝	栗	4	宮崎県宮崎郡	内フア	第二ウラウラ	内洋	荒波
	150	12215	ギョウコ	内洋	牝	鹿	4	宮崎県新諸県郡	内洋	タケコ	内洋	治田
	151	12216	ギョウチンセツガバ	内洋	牝	鹿	4	鹿児島県曾於郡	内フア	チンセツ	内洋	第三双葉
	152	10177	ミツノユキ	内洋	牝	鹿	4	鹿児島県安平村	ウラ	真鶴	内洋	第四ウエトウビー
	153	8463	ウツキ	内洋	牡	栗	4	岩手県西山	ウラ	ホラ	内洋	第三豊田
	154	13277	イビニシウカ	ウラ	牝	鹿	4	北海道清水村	ウラ	ウレロロ	ウラ	第一梅花
	155	12876	カモネズメ	ウラ	牝	鹿	4	北海道河東村	ウラ	智勝	ウラ	五月
	156	13004	ウラノチヤウ	内洋	牝	鹿	4	北海道川西村	内フア	アケアケ	内洋	アサ
	157	12877	ギョウナハヤウ	内洋	牝	鹿	4	北海道守安町	内フア	タノム	内洋	第二藤ノ戸
	158	12963	ギョウヒメ	ウラ	牝	鹿	4	北海道土樽村	ウラ	トニチー	ウラ	静
	159		ギョウカウラ	内洋	牝	鹿	4	北海道土樽村	内フア	タノム	内フア	第一如姫
	160		ギョウイチハヤ	内洋	牝	鹿	4	北海道守安村	内フア	アケアケ	内フア	朝日
161		ギョウラキカ	内洋	牝	鹿	4	北海道新内郡	内フア	第二ホーレム	内洋	銀	
162		ギョウカイ	内洋	牝	鹿	4	北海道東川村	内洋	賢亮	ウラ	朝日	
163		ギョウニシ	内洋	牝	鹿	4	岩手県岩手郡	内洋	第二キタミ	ウラ	第三卯丸	
164		ギョウカホル	ウラ	牝	鹿	4	北海道新得村	ウラ	苑	ウラ	山吹	
165		ギョウセイヤウ	内洋	牝	鹿	4	北海道羽村	内フア	白旗	内洋	久泰	
166		ギョウホーラ	内洋	牝	鹿	4	北海道三神村	内フア	キイチア	ウラ	静	
167		ギョウヤヒコ	ウラ	牝	鹿	4	福島県三ツ堂村	ウラ	キウヤマ	ウラ	川	
168	1664	イナダ	内洋	牝	鹿	7	北海道清水村	内洋	紫影	内洋	種良	

鼻取進歩之部

出庄の部	番号	登録番号	馬名	種類	性	毛色	年齢	産地	父	母	公認名	
鼻取進歩之部	169	6419	ハクイサミ	ウラ	牝	栗	7	北海道新内郡	内ウラ	第十四エビス	ウラ	ハクイサミ
	170	12710	ハクニールンゾウ	内フア	牝	鹿	4	北海道新得村	ウラ	ハクニール	内洋	菊雄
	171	12681	ホシ	ウラ	牝	鹿	7	北海道高田町	内洋	黄老	内洋	秀雄
	172	6522	ホロロツル	ウラ	牝	鹿	8	北海道羽村	内洋	林深	ウラ	第二芙蓉
	173	6822	トウチビ	ウラ	牝	鹿	6	北海道川本郡	ウラ	シメヌー	ウラ	花山
	174	6074	ウラノヨイサミ	内洋	牝	鹿	8	北海道新内郡	内ウラ	第四豊平	内洋	ホエヌー
	175	6677	チル	ウラ	牝	鹿	8	北海道新得村	内ウラ	第十三ヒュー	ウラ	岩川
	176	13045	ウラノチヤウ	内ウラ	牝	鹿	4	北海道白老郡	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	チノバチア
	177	13046	ウラノチヤウ	内ウラ	牝	鹿	4	北海道白老郡	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	チノバチア
	178	4985	ホウカヒメ	ウラ	牝	鹿	7	北海道新得村	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	チノバチア
	179	9881	ルイセ	ウラ	牝	鹿	7	北海道新得村	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	チノバチア
	180	2117	オトハル	ウラ	牝	鹿	8	北海道和田村	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	チノバチア
	181	10937	オトハル	ウラ	牝	鹿	4	北海道中川郡	内洋	文花	内洋	第二アウロー
	182	4833	オトハル	ウラ	牝	鹿	6	北海道中川郡	内フア	第三十三ルビ	ウラ	藤美雄
	183	5287	ウラノヤキ	内洋	牝	鹿	7	北海道土樽村	ウラ	ルビ	内洋	藤美雄
	184	4965	カチニシキ	ウラ	牝	鹿	6	北海道東郷町	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	首善
	185	10762	カチニシキ	ウラ	牝	鹿	4	北海道佐呂間村	ウラ	第三十五ルビ	ウラ	山根
	186	5075	ウラノヤキ	ウラ	牝	鹿	5	北海道佐呂間村	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	白雲
	187	8328	ウラノヤキ	ウラ	牝	鹿	6	北海道土樽郡	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	第三高砂
	188	1087	ウラノヤキ	ウラ	牝	鹿	7	北海道白老郡	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	九一
189	8093	ウラノヤキ	ウラ	牝	鹿	5	北海道田代村	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	昭典	
190	9735	ウラノヤキ	ウラ	牝	鹿	8	北海道中川郡	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	月	
191	322	ウラノヤキ	ウラ	牝	鹿	8	北海道佐呂間村	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	第二露	
192	7477	ウラノヤキ	ウラ	牝	鹿	5	北海道佐呂間村	ウラ	ウラノヤキ	ウラ	第二露	

出庄の部	番号	登録番号	馬名	種類	性	毛色	年齢	産地	父	母	公認名
	97	8723	キツネオリー	内洋	牝	鹿	5	北海道釧路内郡	ウラ ハリオ	内洋 マツヤ	キツネオリー
	98	12299	キツネツグミ	内洋	牝	鹿	7	青森県三戸郡	ウラ セウアキツ	内洋 ホーウ	キツネツグミ
	99	2625	キヌメノク	内洋	牡	栗	8	北海道釧路内郡	内洋 第十一チホウツクシ	内洋 マツヤ	ミツツキ
	100	9920	キヌツルハ	内洋	牝	栗	4	北海道高田町	内洋 真鶴	内洋 ウエー	
	101	12414	キツネツルブ	内洋	牝	栗	5	北海道大樹村	内洋 大鶴	内洋 九村	
	102	12405	キツネオキ	内洋	牝	鹿	5	北海道美幌町	内洋 第五ルニシチア	内洋 五月	
	103	7784	キツネオキ	内洋	牝	鹿	9	北海道中川郡	内洋 第五ルニシチア	内洋 第一百合	カマ
	104	1546	キツネキヨコ	内洋	牝	鹿	5	北海道清原郡	ウラ ハリオ	内洋 ホトバ	オホナホ
	105	2350	キツネイダ	内洋	牝	鹿	7	北海道安平村	内洋 名鶴	内洋 第一春天	クニエニシ
	106	8468	ユニシツク	内洋	牝	鹿	7	北海道三石村	ウラ ハリオ	内洋 第一春天	
	107	12433	ミヨシ	内洋	牝	鹿	6	北海道東平郡	ウラ 名鶴	内洋 第一春天	
	108	5755	ミヨシカ	内洋	牝	鹿	7	北海道三戸郡	ウラ 名鶴	内洋 第一春天	
	109	9131	ミヨシウニ	内洋	牝	鹿	7	北海道三戸郡	ウラ 名鶴	内洋 第一春天	
	110	5876	ミヨシイ	内洋	牝	鹿	8	北海道三戸郡	ウラ 名鶴	内洋 第一春天	
	111	516	ミヨシ	内洋	牝	鹿	8	北海道三戸郡	ウラ 名鶴	内洋 第一春天	
	112	1865	シムツ	内洋	牝	鹿	7	青森県三戸郡	ウラ ミツク	内洋 第二立籠	
	113	7443	ヒロカキ	内洋	牝	鹿	5	宮崎県諸県郡	内洋 第十四シカク	内洋 第二立籠	
	114	8461	ヒロカキタ	内洋	牝	鹿	6	鹿児島県曾於郡	内洋 第一ホービー	内洋 第二立籠	
	115	2372	ヒロカキ	内洋	牝	鹿	8	鹿児島県曾於郡	ウラ タマ	内洋 第二立籠	
	116	1354	ヒロカ	内洋	牝	鹿	9	鹿児島県曾於郡	ウラ イホ	内洋 第二立籠	
	117	9741	ヒロキ	内洋	牝	鹿	8	鹿児島県曾於郡	ウラ イホ	内洋 第二立籠	
	118	1386	ヒロキ	内洋	牝	鹿	5	青森県下高田代村	内洋 第十三シカク	ウラ ツク	カキタ
	119	3036	モシ	内洋	牝	鹿	8	北海道網走郡	ウラ シヤ	ウラ ツク	ヒロカ
	120	11659	セキ	内洋	牝	鹿	5	北海道茅部郡	ウラ シヤ	ウラ ツク	シヤ

出庄の部	番号	登録番号	馬名	種類	性	毛色	年齢	産地	父	母	公認名
	121	7366	セントエ	ウラ	牝	鹿	4	北海道西部	内洋 第十四シカク	ウラ ツク	
	122	8651	セントエ	ウラ	牝	鹿	5	鹿児島県曾於郡	内洋 第二十三シカク	ウラ ツク	
	123	3569	セントエ	内洋	牝	鹿	7	鹿児島県曾於郡	内洋 ウツ	内洋 スリート	
	124	3598	セントエ	内洋	牝	鹿	6	北海道釧路内郡	ウラ 第一ホービー	ウラ ツク	
	125	7473	セントエ	内洋	牝	鹿	7	北海道釧路内郡	ウラ ウツ	内洋 松尾	
	126	5217	ヌキ	内洋	牝	鹿	5	北海道釧路内郡	ウラ 復白	ウラ ツク	
抽籤馬之部	127	1389	ロビ	ウラ	牝	鹿	4	宮崎県諸県郡	内洋 イホ	ウラ ツク	
	128	8630	チウ	ウラ	牝	鹿	5	宮崎県曾於郡	ウラ 第十八シカク	ウラ ツク	
	129	9994	オウ	内洋	牝	栗	4	北海道釧路内郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	130	7919	カエ	ウラ	牝	栗	5	宮崎県八木町	ウラ 文球	ウラ ツク	
	131	7618	カエ	ウラ	牝	栗	5	宮崎県曾於郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	132	8835	タチ	内洋	牝	鹿	4	宮崎県曾於郡	ウラ イホ	ウラ ツク	
	133	11197	タチ	内洋	牝	鹿	4	宮崎県曾於郡	ウラ イホ	ウラ ツク	
	134	12222	タチ	内洋	牝	鹿	4	宮崎県曾於郡	ウラ イホ	ウラ ツク	
	135	8013	ウツ	内洋	牝	鹿	5	鹿児島県曾於郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	136	8837	ウツ	内洋	牝	鹿	5	鹿児島県曾於郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	137	12585	エツ	内洋	牝	鹿	4	北海道釧路内郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	138	9028	アキ	ウラ	牝	鹿	4	北海道釧路内郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	139	9992	アキ	内洋	牝	鹿	4	北海道釧路内郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	140	9030	アキ	内洋	牝	鹿	4	北海道釧路内郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	141	8044	ギョ	内洋	牝	鹿	5	宮崎県諸県郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	142	12209	ギョ	ウラ	牝	鹿	5	宮崎県諸県郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	143	8042	ギョ	ウラ	牝	鹿	5	宮崎県諸県郡	ウラ ツク	ウラ ツク	
	144	12211	ギョ	内洋	牝	鹿	4	宮崎県曾於郡	ウラ ツク	ウラ ツク	

出産の順	番号	登録番号	馬名	種類	性別	毛色	年齢	産地	父	母	公認名
49	12392		タテヒナ	内洋	牡	鹿	7	福島県舟形郡	サラ ロイヂー	内洋 赤ウシ	タテヒナ
50	10767		スラムドームスビウ	内洋	牡	鹿	4	北海道東室町	内洋 第七カシ	内洋 青スシウ	
51	6242		ナミシケ	内洋	牡	鹿	5	宮城県高松郡	内洋 第二アンソール	内洋 ハル	
52	9118		ラウソウゾウ	内洋	牡	栗	4	北海道紅田郡	内洋 エミラズ	内洋 香花	
53	11051		ラウキートゾウ	内洋	牡	栗	5	北海道静内郡	内洋 ナス	内洋 櫻花	
54	3885		ムシキハク	サラ種	牡	栗	6	宮城県加美郡	内洋 愚山	サラ種 第五宮畑	
55	5555		ムソウルム	内洋	北	鹿	6	青森県三戸郡	内洋 カカリ	内洋 第五丸ノム	
56	9355		ムソウカサマ	内洋	北	鹿	6	北海道静内郡	サラ セヤンダ	内洋 第五真柳内	
57	1037		ヤマセ	内洋	北	鹿	6	鹿角島県肝属郡	内洋 タキラ	内洋 松橋	
58	8020		マソエツ	内洋	北	鹿	6	鹿角島県松島郡	内洋 アキラ	内洋 初悦	
59	4100		ケムシヒメ	内洋	北	鹿	7	北海道新島郡	内洋 カンテ	内洋 天龍	マサヒメ
60	485		ケムシ	内洋	牡	鹿	9	北海道静内郡	サラ クラウソウナンチン	内洋 アスケト	ケムシ
61	506		フナヒ	内洋	牡	栗	9	北海道白糠郡	内洋 第九ルジター	内洋 第二クエス	
62	6471		フナフナ	サラ種	北	栗	5	宮城県東洋郡	内洋 ムツル	サラ種 第二クエス	
63	5605		フナク	サラ種	北	鹿	7	北海道静内郡	内洋 名銀	内洋 ヲハラ	
64	488		コバマ	サラ種	北	鹿	7	北海道静内郡	内洋 フナク	内洋 初龍	
65	5026		コソカリア	内洋	牡	鹿	6	北海道静内郡	内洋 第五ソレブキ	内洋 レターグアツ	
66	13073		コガシマ	内洋	牡	鹿	5	北海道	サラ ロイヂー	内洋 第二ウリヤ	
67	6722		コガタタ	内洋	北	栗	5	岩手県木田村	サラ 露龍	内洋 第二花澤	
68	8167		エイト	内洋	牡	栗	5	北海道新島村	サラ チヤムコムラ	内洋 沼鱈	
69	10524		エスエル	内洋	北	鹿	4	鹿角島県松島郡	内洋 アキラ	内洋 錦山	
70	9117		エミキ	内洋	北	鹿	5	北海道中川郡	内洋 エミラズ	内洋 第二花澤	
71	5078		エムカロ	内洋	北	鹿	5	北海道中川郡	内洋 第七カシ	内洋 ヲハラ	
72	12441		エカガ	内洋	北	鹿	7	北海道静内郡	サラ ヲハラ	露洋 レターグアツ	テジー

出産の順	番号	登録番号	馬名	種類	性別	毛色	年齢	産地	父	母	公認名
73	3776		エータイ	サラ種	牡	鹿	7	盛岡市	内洋 タイナ	サラ種 東征	
74	2329		エホリ	サラ種	牡	栗	6	青森県三戸郡	内洋 青葉	内洋 高龍	
75	9053		マロビハホオ	サラ種	牡	鹿	5	北海道河東郡	内洋 俊白	内洋 紅花	
76	8490		マツクミ	内洋	牡	栗	6	北海道静内郡	サラ ミシク	内洋 豊天	ホリウ
77	11090		マツクミ	内洋	北	栗	5	青森県上北郡	内洋 モーニク	内洋 玉山	
78	8975		サハハ	内洋	北	鹿	5	鹿角島県管長郡	サラ サハリス	内洋 ウリハ	
79	4299		サレレ	内洋	北	鹿	6	北海道静内郡	白サラ ルリエール	内洋 センヒメ	
80	2960		サレク	内洋	牡	鹿	5	北海道静内郡	内洋 アキラ	内洋 フルツニ	
81	1871		サレク	内洋	牡	鹿	8	鹿角島県岩手郡	サラ コトリスター	内洋 糸條	
82	7393		サレク	内洋	北	鹿	5	青森県西津軽郡	サラ サレリス	内洋 初口(不植字)	
83	1840		キキヤナリ	内洋	牡	鹿	7	北海道静内郡	サラ クラウソウナンチン	内洋 第九カシ	クラウソウス
84	9235		キクヤナリ	内洋	牡	栗	5	青森県石川郡	サラ セクヤナリ	内洋 第二香花	
85	12228		キクヤナリ	内洋	牡	鹿	7	北海道中川郡	内洋 ロビソット	内洋 豊岩	マサヒメ
86	5014		キクヤナリ	内洋	北	鹿	6	鹿角島県松山郡	内洋 ロビソット	内洋 第二花澤	
87	8844		キクヤナリ	内洋	牡	栗	6	青森県上北郡	内洋 恩水	内洋 各月	
88	487		キクヤナリ	内洋	牡	栗	6	青森県三戸郡	内洋 金冠	内洋 第二花澤	
89	12882		キクヤナリ	内洋	牡	栗	4	岩手県九戸郡	内洋 第四ソレブキ	内洋 加三	
90	3054		キクヤナリ	内洋	牡	栗	8	北海道河東郡	内洋 第四ソレブキ	内洋 加三	
92	9146		キクヤナリ	サラ種	牡	栗	6	北海道留邊郡	内洋 真龍	内洋 亞蓮	
93	13105		キクヤナリ	内洋	北	栗	4	北海道河東郡	内洋 タウソク	内洋 ストム	
94	987		キクヤナリ	サラ種	北	鹿	4	宮城県栗原郡	内洋 ヲハラ	サラ種 トクミ	
95	12861		キクヤナリ	内洋	北	鹿	4	北海道札幌市	サラ クラウソウ	内洋 龍上	
96	10014		キクヤナリ	内洋	北	鹿	6	北海道静内郡	サラ ミシク	内洋 フライ	スターグアツ

出走の部	番号	登録番号	馬名	種別	性	毛色	年齢	産地	父	母	公認名
馬歩之部	1	7058	イナダ一馬	内洋	牝	青鹿	5	福島県飯館部	内洋 第四十二イナダ一馬	内洋 豊藤	
	2	1295	イナイチ	サラ雑	牝	黒鹿	6	宮城県八代村	内洋 イナイチ四	サラ雑 サウエ	
	3	626	イノミユキ	内洋	牝	鹿	7	宮城県玉造郡	内洋 第二十二イノミユキ	内洋 第二温風ノ二	イナイチカール
	4	6975	イチ	内洋	牝	鹿	5	宮城県北津操郡	サラ フジノホ一ホ	内洋 碧香	
	5	4948	イナノハナ	内洋	牝	鹿	5	北海道虻田郡	内洋 一カロー	内洋 初林	
	6	9027	イナノヲノハ	内洋	牝	鹿	5	北海道虻田郡	内洋 俊白	内洋 寶室ノ三	
	7	9605	イナノハ	内洋	牝	鹿	7	北海道白糠郡	サラ ヘリオク	内洋 保全	
	8	5687	ロシヤンベ	内洋	牡	鹿	7	北海道白糠郡	内洋 第一七七一ザウフ	内洋 初徳	
	9	1560	イナノンゾ	内洋	牝	鹿	4	鹿児島県姶良郡	内洋 フキヲ	内洋 カナリ	
	10	2480	イナノヨ一	内洋	牝	鹿	8	鹿児島県姶良郡	内洋 曉雄	内洋 ニシキ	
	11	6864	イナノヒキ	内洋	牝	鹿	8	鹿児島県姶良郡	サラ フキヲ	内洋 ショクトリア	
	12	10579	ハル	内洋	牝	鹿	4	鹿児島県姶良郡	サラ サノグリス	内洋 全昭	
	13	5389	イナノシユク	内洋	牡	鹿	6	北海道勇払郡	内洋 眞鏡	内洋 初瀬	
	14	11910	イナノクニ一	内洋	牡	鹿	6	北海道勇払郡	サラ セウツカキンク	内洋 サウツカサネ一ス	
	15	2801	イナノヒ一	内洋	牝	鹿	5	北海道静内郡	内洋 第二一ホニ一	内洋 春風	
	16	2600	イナノカゼ	内洋	牝	鹿	9	北海道静内郡	内洋 第十八イナノクニ	サラ雑 盛岡六	
	17	4734	ニホ一	サラ雑	牝	黒鹿	7	福島県美山村	内洋 ランホニ一	内洋 セウツカサネ	
	18	8142	ニホ	サラ雑	牝	黒鹿	7	福島県美山村	内洋 第十八イナノクニ	内洋 塔羅	ラツキ一セツシ
	19	4432	ホトノク	サラ雑	牡	鹿	6	北海道河内郡	内洋 第四一イナノヒ	サラ雑 岩花	
	20	970	ホクエ	内洋	牡	鹿	6	北海道河内郡	内洋 第四一イナノヒ一	内洋 緑女	
	21	834	ホトフサ	内洋	牡	鹿	6	宮城県伊形郡	内洋 フアツ	内洋 星花	
	22	1067	ホトノクカズ	内洋	牝	鹿	8	北海道山越郡	サラ ホトノクズホ一	内洋 スコチササケス	
	23	5999	ホクノカシ	内洋	牝	黒鹿	8	北海道安平村	内洋 一カフ	内洋 第二豊藤	アノシラシ
	24	11508	ホクノミヅハ	内洋	牝	鹿	4	北海道茅渚村	内洋 第七ヒロシ	内洋 第一ヘツクニ	

出走の部	番号	登録番号	馬名	種別	性	毛色	年齢	産地	父	母	公認名
	25	6941	ヨシホ一ム	内洋	牝	鹿	5	北海道静内郡	内洋 第二ホトノク	内洋 集	
	26	10309	チノカノク	内洋	牝	鹿	5	千葉県印旛郡	内洋 第八イナノク	内洋 夕月	
	27	4955	ムクヒ	内洋	牝	鹿	6	北海道静内郡	内洋 第九ムク一	内洋 第二八千代	
	28	2409	ワカハル	内洋	牝	鹿	7	青森県北津軽郡	サラ シヤノニカズ一	内洋 才良	
	29	2556	ワユダ一	内洋	牝	鹿	7	北海道静内郡	サラ チヤノクニカフ	内洋 第三エチモ一	ワユダ一
	30	479	カノムラ	内洋	牝	鹿	8	北海道虻田郡	内洋 フキヲ	内洋 緑女	
	31	2257	カノクニカフ	内洋	牝	黒鹿	8	鹿児島県曾於郡	内洋 第二三ノクニ	内洋 ヨルノカフ	
	32	11414	カノセ	サラ雑	牡	鹿	4	鹿児島県曾於郡	内洋 編美	サラ雑 紅嵐	
	33	7161	カノツキキル	内洋	牝	鹿	5	鹿児島県姶良郡	内洋 フキヲ	内洋 腕上	タカラチホ
	34	1924	カノツキカチホ	内洋	牝	鹿	6	鹿児島県姶良郡	サラ セヤツク	サラ雑 シル	
	35	1304	カノ	サラ雑	牝	鹿	7	鹿児島県曾於郡	内洋 レノサケモ	内洋 ヒ一ス	
	36	2824	カノシユ一	内洋	牝	鹿	7	北海道虻田郡	内洋 シ一	内洋 第二春風	
	37	3687	カノシユシ	内洋	牝	鹿	5	宮城県東白郡	内洋 第十三ノク	内洋 ショク	タノ四ハルシク
	38	9104	カノツク	内洋	牝	鹿	4	鹿児島県姶良郡	サラ サノグリス	内洋 ショク	
	39	1185	カノツク	内洋	牝	鹿	9	鹿児島県姶良郡	サラ セヤツク	内洋 全鈴	タノヤノク
	40	9832	カノツク	内洋	牝	鹿	9	北海道石狩郡	内洋 第二十四ノクニ	内洋 ホ一ズン	シエビ一
	41	9024	カノツク	内洋	牝	鹿	5	青森県三戸郡	内洋 カノク	内洋 第一満雅	
	42	9237	カノヒキ	内洋	牝	鹿	5	北海道十勝郡	内洋 ト	内洋 第二温風	
	43	147	カノ	内洋	牝	鹿	8	北海道虻田郡	内洋 チヤノクニカフ	内洋 ラビクワン	タノカ
	44	456	カノヒキ	内洋	牝	鹿	8	北海道虻田郡	内洋 第二十四ノクニ	内洋 雲龍	
	45	12351	カノヒキ	内洋	牝	鹿	4	鹿児島県日置郡	サラ イノスチシヤク	内洋 第二力里	
	46	3589	カノヒキ	内洋	牝	鹿	5	青森県八戸郡	サラ セウツカキンク	内洋 フジノハ	
	47	5662	カノヒキ	内洋	牝	鹿	6	岩手県八戸郡	サラ ロケツキ一	内洋 ラウリス	
	48	3609	カノヒキ	サラ雑	牝	鹿	7	青森県七戸郡	内洋 加鏡	内洋 第四秀	アサヒ

売渡書

一、栗毛三才 産地北海道
特徴 小星 前後白 馬名早風
右ノ馬金志千円二才売却仕り候
事矣正也、後日為売渡書差入
如件

昭和四年九月廿四日

野村安吉郎

宇野領三殿

二八 借入金証書

借入金証書

一金 (金額未記)

右之金円、拙者必要ニ付、御貴殿ヨリ受取借用仕り候処矣正也、然
ル上返済之儀ハ昭和 年 月 日迄ニ屹度返金仕可候、為後日借
入金証書差入如件

昭和五年参月拾七日

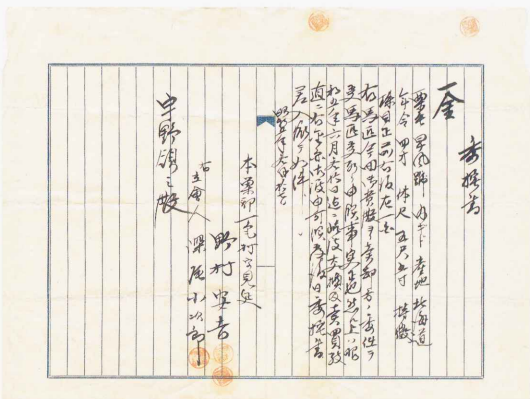
本奥郡一色村字見延

債務者 野村安吉郎

債権者

宇野領三殿

二九 馬(早風号)の売却につき委託書



委託書

一金 (金額未記)

栗毛 早風号 内ギ下 産地 北海道
年拾四才 体尺五尺五寸 特徴
珠目正 前右後左一白
右馬四今回御貴殿ヨリ売却方ノ委任ヲ
受、馬匹受取り申候事矣正也、然ル上八昭
和五年六月参拾日迄ニ屹度交換及控買致、
直二右金円御渡申可候、為後日委
書差入依テ如件

昭和五年参月拾七日

本奥郡一色村字見延

野村安吉

右 立会人

深尾小次郎

宇野領三殿

三八 手紙(村上特務曹長から宇野領市(マ)あて)

拝啓、益々御健勝の段奉大賀候
扱て先自森の奥号病氣に關スル書類拝見、種々研究致し候も、獣医
は派遣出来ざるとの事師団司令部の方より通知之有候二付、御承知
相成度、従つて地方の獣医の診断を要する事と御承知相成候
尚病氣にて使役二堪へざる時は地方獣医の診断書を添へ後場の方に
返納届を出せば返納する事も出来る様成り居候二付、承知相成度、
一度野砲隊の方にお出に成り、細部に付打合せらるゝを可と存じ居
候

乍末筆小生も突然支那の方に派遣を命せられ廿一日朝出発する事に
成り居候付、細部は連隊本部の中江軍曹に依頼致し置候二付、御面
会相成度、突然の出發の為細部のお世話致さず誠に残念に候も悪し
からず、向寒の御益々御全家の御健康祈上候

村上特務曹長

宇野領市殿

貸付予備馬罹病ニ付獣医来診ノ件

岐阜県稲葉郡各務村各務百六十一番戸ノ式

昭和三年九月三十日

借受人

宇野領三郎

名古屋野砲兵補充隊長 藤崎芳一殿

拙者領三儀、昨年野砲兵第三連隊ヨリ借受候
貸付予備馬森ノ奥号前股跛行呈シ種々手当致シ
候モ快復セズ、使役ニ堪ヘザルニ至リ候間、御多忙中
恐レ入り候ヘ共、貴隊附獣医殿ノ来診ヲ得度ク、
此段及御依頼候也
追而貴隊迄連行受診致スヘキ所、目下ノ処連
行致シ得ザル状況ニ有之候ヘバ、何卒当地
ニ於テ診療ノ程願上候

一九 貸付馬診断為出張致度件申請



砲三補充第三八七号

貸付馬診断為出張致度件申請

昭和三年十月二日 野砲兵第三連隊補充隊長 藤崎芳一 殿

留守第三師團長 曾田孝一郎 殿

別紙ノ通り願出アリタルニ付貴隊獣

医ヲ出張セシメ度申請ス

付箋

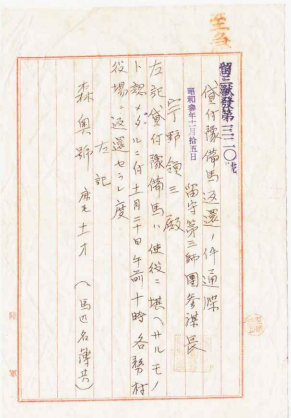
〔申請ノ趣認可シ難シ〕

使役ニ堪ヘサルモノトセバ、返還ノ手続ヲ採リコト
書類ノ扱ハ本人―市町村―警察―管理官

〔除軍票紙使用、右欄に三年〇月〇日付の留守第三師團司令部の収印あり〕

〔別紙〕は八行交書

二〇 貸付予備馬返還ノ件通牒(留三獸発第三二〇号)



留三獸発第三二〇号 (羊急の押印あり)

貸付予備馬返還ノ件通牒

昭和三年十一月拾五日 留守第三師團參謀長 圓

宇野領三郎

左記貸付予備馬ハ使役ニ堪ヘサルモノ

ト認メタルニ付、十一月二十日午前十時各務村

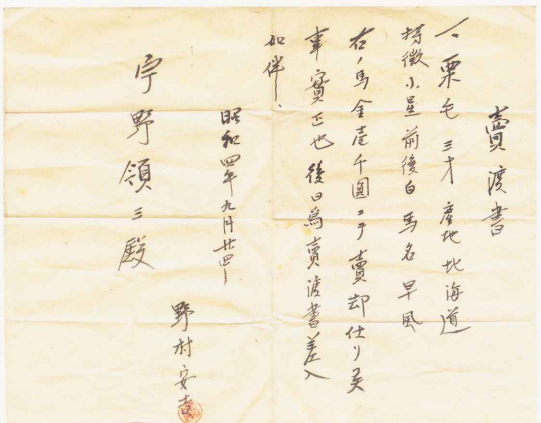
役場ニ返還セラレ度

左記

森奥号(鹿毛 十一才(馬匹名簿共))

注 右欄上「交代書」の押印がある。

二六 売渡書(粟毛三才馬早風号千円にて売却仕り候)



八 地方競馬出走新馬購入二関スル件

畜連第一八四号

昭和九年七月六日

岐阜県畜産組合連合会

郡畜産組合御中

地方競馬出走新馬購入二関スル件

馬事思順普及並發達ヲ図ル目的ヲ以テ、本年度予算ノ範囲内ニ於テ、本会ノ幹旋ニ依リ地方競馬馳歩、競走ニ出走セシムベキ新馬ヲ購入スルモノニ對シ、購入後宅頭ニ付宅目以内ノ奨励金ヲ交付致度候條、左記事項御合ノ上希望者ハ七月末日迄二別紙様式ニ依リ申請御配意相成度、此段及照会候也

記

- 一、購買時期及購買地 昭和九年九月上旬 宮崎県及鹿児島県
- 二、購買予定頭数及価格 拾頭 一頭四百円ニシテ參歲及四歳ノ並年合、性 牝又ハ牡ニシテ驅馬ヲ除ク
- 三、本会ノ指示ニ依リ購買金額ヲ予納スルモノトス
- 四、奨励金ハ新馬購入後、請求書ニ血統証ノ正本ヲ添付シ請求ナス
- 五、購入新馬ハ抽籤ヲ以テ之ヲ配付ス
- 六、抽籤ニ依リ決定シタル馬匹ニ對シ、申込者ハ異議ヲ唱ヘ、又ハ受取ヲ拒ムコトヲ得又
- 七、新馬購入後申込者ニ配付スル迄ノ間ニ於テ、不慮ノ災害ニヨリ廢斃トナリタル場合ノ損失金ハ、新馬配付ヲ受ケタル者ノ平等負担トシ還付金ニ充當ス
- 八、新馬予定頭数ヲ購入シ能ハザルトキ、又ハ前項廢斃馬ヲ生ジタ

九 地方競馬出走新馬購入二関スル件

畜連第一八四ノ一号

昭和九年九月四日

岐阜県畜産組合連合会

郡畜産組合御中

地方競馬出走新馬購入二関スル件

養一首題ノ件照会ノ趣、貴郡内ヨリ左記ノモノ申請有之候ニ就テハ、奨励金老百円ヲ交付可致候條、七月十日付畜連第一八四号ニ依リ購入金額四百円ヲ九月十五日迄二前納候條御配意相煩度、此段及通知候也

追テ馬匹購入員ノ出発ハ、九月二十日ニシテ馬匹岐阜着八月十日ノ馬匹ニ至、到着後本会ニ於テ抽籤ヲ施行スル旨、八月十一日付馬匹到着ノ通知ト同時ニ申込者ハ直チニ出頭相成度申添候

記

右の如く關係畜産組合に通知有之候て御承知被下
購買地の産物状況視察の爲目費出張されるれば其の氏名何卒御二報相煩度候
高馬匹到着に付打電及電話を以つて責任者に通知の必要有之候へば責任者の住所、氏名並に電報又は電話いづれが良ひに付御通知相成度候

曾根卓三

ルトキハ、馬ノ配付ヲ受ケザル者ニ對シ予納金ヲ還付ス

九、購入新馬ハ交付ノ日ヨリ式ケ年間限内ニ於テ飼養シ、且当該馬

ノ本会主催ノ地方競馬會ニ出走セシムル義務アルモノトス

一〇、新馬ヲ他府県ノ地方競馬會ニ出走セシムル場合ハ、本

會ノ承認ヲ受クベシ

一一、疾病其ノ他ノ原因ニ依リ本会主催ノ競馬會ニ出走不能ノ時或

ハ之レヲ爲死分セントスル時ハ、其ノ事由ヲ具シ、本会ノ承認ヲ

受クベシ

一二、斃死其ノ他ノ事故ノ爲亡失タル時ハ、遲滞ナク本会ニ届出

スベシ

一三、他人ニ譲渡セントスル時ハ、当事者連署ノ上願出テ本会ノ承

認ヲ受クベシ、但シ譲渡ヲ受ケタル者ハ前所有者ノ義務ヲ繼承ス

ルモノトス

一四、該馬馬ノ競馬出走二関シテハ、總テ本会ノ命ニ從フモノトス

一五、右ノ各項ノ一二違反シタル場合ハ、奨励金ノ全部若ハ一部ノ

還付ヲ命スルモノトス

別紙

様式

競走新馬購入奨励金交付申請

地方競馬競走新馬ヲ貴會ノ幹旋ニ依リ購入致度候條、購入費ニ對シ

奨励金御交付相成度、此段及申請候也

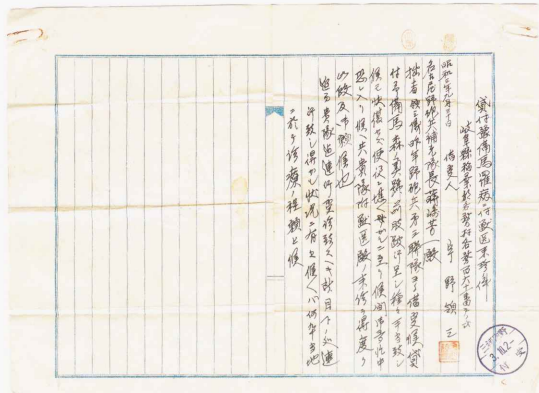
追テ貴會ノ御指示ニ依リ購入ニ要スル費用前納可仕候

昭和九年 月 日

住所 氏名 印

岐阜県畜産組合連合会長殿

一八 貸付予備馬罹病二付獣医來診ノ件



史料編
(競馬関係)

参 考 文 献

- 『軍馬資源保護関係法規』(馬政局 昭和14年度)
- 『岐阜県競馬沿革史』(岐阜県町村競馬組合 1970年5月1日発行)
- 『地方競馬史』第一巻(地方競馬全国協会 昭和47年8月1日発行)
- 『ふるさと笠松』(笠松町 昭和58年11月30日発行)
- 『各務原市史』考古・民俗編 民俗(各務原市 昭和60年3月27日発行)
- 『鵜沼町百年史』(鵜沼町百年史編集委員会 昭和63年11月23日発行)
- 『戦場を駆け抜けた書簡』(柘植久慶 1991年5月9日発行)

編集後記

当歴史民俗資料館は、平成15年4月にこれまで慣れ親しんできた鶴沼三ツ池町の事務所から、市民公園内にある中央図書館の3階に移転しました。蘇原支所内の開設から数えると、3度目の「引越し」を経験したことになります。この30有余年の間に、市民のみならずから提供された資料点数は2万点を超え、市内はもちろん、市外からも問い合わせが寄せられるようになりました。

特に、戦時体験シリーズ3作（『各務原市民の戦時体験』『各務原市民の戦時写真』『各務原市民の戦時記録』）は、市民が語り部として戦前・戦後の暮らしを伝えるものになっており、好評を得ています。陸軍飛行場が設けられていたことや、戦後に米軍が進駐してきたことなどは、他地域には見られない当市の特色です。昨年、三重県のある男性が、知り合いの米国人からフィリピンで戦死した日本兵の日章旗を託されたので、是非関係者を捜したいと訪ねて来られました。拝見すると「中島製作所」という社名があり、各務原で働いていた人のものではないかと思われたようです。残念ながら、同製作所は各務原に存在していなかったため、いろいろと関係機関に照会を依頼したのですが、捜し出すことができませんでした。しかし暫くして、その日本兵のご夫人が埼玉県でご健在であることが分かり、無事にお返しすることができました。新聞社や遺族会のご協力があって、米国人や三重県の男性の願いが叶ったわけです。

こうして見てくると、戦争はまだ終わっていないと思います。戦時体験シリーズをまとめてきたことは、三重県の男性の心を動かし、結果的に日本兵の遺品が返されることと結びました。戦時資料をあらためて見直ししていくことに意義を感じます。

本年度は、宇野尹久子さんから寄贈された資料をもとに、目録の作成を行いました。昨年度刊行しました「各務原市文書史料目録七」に続くものです。今回「史料編」に掲載した競馬関係資料と軍事郵便は、これまでの戦時資料を補完するとともに、新たな発見につながるものと確信いたします。木曾川学や近代史研究に役立てていただければ幸いです。

なお、宇野尹久子さんには、資料の寄贈だけでなく、聞き取り調査にも何度か応じていただきました。また本書を作成するにあたって、岐阜県歴史資料館や岐阜県図書館のご協力を得ましたので、この紙面を借りて、関係者各位にお礼を申し上げます。

平成16年4月

各務原市歴史民俗資料館

館長 大森利博

干支早見表(1)

干支	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦	年号	西暦
丙子	必永3	1396	康正2	1456	永正13	1516	天正4	1576	寛永13	1636
丁丑	4	1397	長禄1	1457	1400	1517	5⑦	1577	14③	1637
戊寅	5④	1398	2①	1458	15	1518	6	1578	15	1638
己卯	6	1399	3	1459	16	1519	7	1579	16①	1639
庚辰	7	1400	寛正1	1460	17⑥	1520	8③	1580	17	1640
辛巳	8①	1401	2	1461	大永1	1521	9	1581	18	1641
壬午	9	1402	3	1462	2	1522	10	1582	19⑨	1642
癸未	10①	1403	4⑥	1463	3③	1523	11①	1583	20	1643
甲申	11	1404	5	1464	4	1524	12	1584	正保1	1644
乙酉	12	1405	6	1465	5①	1525	13⑧	1585	2⑤	1645
丙戌	13⑥	1406	文正1	1466	6	1526	14	1586	3	1646
丁亥	14	1407	応仁1	1467	7	1527	15	1587	4	1647
戊子	15	1408	2①	1468	享禄1	1528	16⑤	1588	慶安1	1648
己丑	16③	1409	文明1	1469	2	1529	17	1589	2	1649
庚寅	17	1410	2	1470	3	1530	18	1590	3①	1650
辛卯	18①	1411	3⑧	1471	4⑤	1531	19①	1591	4	1651
壬辰	19	1412	4	1472	天文1	1532	文禄1	1592	承心1	1652
癸巳	20	1413	5	1473	2	1533	2⑨	1593	2⑥	1653
甲午	21⑦	1414	6⑤	1474	3①	1534	3	1594	3	1654
乙未	22	1415	7	1475	4	1535	4	1595	明暦1	1655
丙申	23	1416	8	1476	5①	1536	慶長1	1596	2④	1656
丁酉	24⑤	1417	9①	1477	6	1537	2	1597	3	1657
戊戌	25	1418	10	1478	7	1538	3	1598	万治1	1658
己亥	26	1419	11⑨	1479	8⑥	1539	4③	1599	2	1659
庚子	27①	1420	12	1480	9	1540	5	1600	3	1660
辛丑	28	1421	13	1481	10	1541	6①	1601	寛文1	1661
壬寅	29①	1422	14⑦	1482	11③	1542	7	1602	2	1662
癸卯	30	1423	15	1483	12	1543	8	1603	3	1663
甲辰	31	1424	16	1484	13①	1544	9⑧	1604	4⑤	1664
乙巳	32⑥	1425	17③	1485	14	1545	10	1605	5	1665
丙午	33	1426	18	1486	15	1546	11	1606	6	1666
丁未	34	1427	長享1	1487	16⑦	1547	12④	1607	7②	1667
戊申	生長1	1428	2	1488	17	1548	13	1608	8	1668
己酉	永享1	1429	延徳1	1489	18	1549	14	1609	9①	1669
庚戌	2①	1430	2⑧	1490	19⑤	1550	15②	1610	10	1670
辛亥	3	1431	3	1491	20	1551	16	1611	11	1671
壬子	4	1432	明必1	1492	21	1552	17①	1612	12⑥	1672
癸丑	5⑦	1433	2④	1493	22①	1553	18	1613	延宝1	1673
甲寅	6⑦	1434	3	1494	23	1554	19	1614	2	1674
乙卯	7	1435	4	1495	弘治1	1555	元和1	1615	3①	1675
丙辰	8⑤	1436	4②	1496	2	1556	2	1616	4	1676
丁巳	9	1437	6	1497	3	1557	3	1617	5②	1677
戊午	10	1438	7①	1498	永禄1	1558	4③	1618	6	1678
己未	11①	1439	8	1499	2	1559	5	1619	7	1679
庚申	12	1440	9	1500	3	1560	6②	1620	8⑧	1680
辛酉	嘉吉1	1441	文亀1	1501	4③	1561	7	1621	天和1	1681
壬戌	2	1442	2	1502	5	1562	8	1622	2	1682
癸亥	3	1443	3	1503	6②	1563	9⑧	1623	3⑤	1683
甲子	文安1	1444	永正1	1504	7	1564	寛永1	1624	真享1	1684
乙丑	2	1445	2	1505	8	1565	2	1625	2	1685
丙寅	3	1446	3①	1506	9⑧	1566	3④	1626	3③	1686
丁卯	4②	1447	4	1507	10	1567	4	1627	4	1687
戊辰	5	1448	5	1508	11	1568	5	1628	元禄1	1688
己巳	宝徳1	1449	6⑧	1509	12⑤	1569	6②	1629	2①	1689
庚午	2	1450	7	1510	元亀1	1570	7	1630	3	1690
辛未	3	1451	8	1511	2	1571	8①	1631	4⑧	1691
壬申	享徳1	1452	9④	1512	3①	1572	9	1632	5	1692
癸酉	2	1453	10	1513	天正1	1573	10	1633	6	1693
甲戌	3	1454	11	1514	2①	1574	11⑦	1634	7⑤	1694
乙亥	康正1	1455	12②	1515	3	1575	12	1635	8	1695

○は閏月 □は元月

干支早見表(2)

干支	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆	年号	西曆
丙子	元禄 9	1696	宝暦 6④	1756	文化13⑧	1816	明治 9	1876	昭和11	1936
丁丑	10②	1697	7	1757	14	1817	10	1877	12	1937
戊寅	11	1698	8	1758	文政 1 ④	1818	11	1878	13	1938
己卯	12⑨	1699	9⑦	1759	2④	1819	12	1879	14	1939
庚辰	13	1700	10	1760	3	1820	13	1880	15	1940
辛巳	14	1701	11	1761	4	1821	14	1881	16	1941
壬午	15③	1702	12④	1762	5①	1822	15	1882	17	1942
癸未	16⑧	1703	13	1763	6	1823	16	1883	18	1943
甲申	宝永 1 ③	1704	明和 1②⑥	1764	7⑧	1824	17	1884	19	1944
乙酉	2④	1705	2	1765	8	1825	18	1885	20	1945
丙戌	3	1706	3	1766	9	1826	19	1886	21	1946
丁亥	4	1707	4⑨	1767	10⑥	1827	20	1887	22	1947
戊子	5①	1708	5	1768	11	1828	21	1888	23	1948
己丑	6	1709	6	1769	12	1829	22	1889	24	1949
庚寅	7⑧	1710	7⑥	1770	天保 1③⑩	1830	23	1890	25	1950
辛卯	正徳 1 ④	1711	8	1771	2	1831	24	1891	26	1951
壬辰	2	1712	安永 1 ⑩	1772	3①	1832	25	1892	27	1952
癸巳	3⑩	1713	2③	1773	4	1833	26	1893	28	1953
甲午	4	1714	3	1774	5	1834	27	1894	29	1954
乙未	5	1715	4②	1775	6⑦	1835	28	1895	30	1955
丙申	享保 1②⑥	1716	5	1776	7	1836	29	1896	31	1956
丁酉	2	1717	6	1777	8	1837	30	1897	32	1957
戊戌	3⑩	1718	7⑦	1778	9④	1838	31	1898	33	1958
己亥	4	1719	8	1779	10	1839	32	1899	34	1959
庚子	5	1720	9	1780	11	1840	33	1900	35	1960
辛丑	6⑦	1721	天明 1⑤⑩	1781	12①	1841	34	1901	36	1961
壬寅	7	1722	2	1782	13	1842	35	1902	37	1962
癸卯	8	1723	3	1783	14⑨	1843	36	1903	38	1963
甲辰	9④	1724	4①	1784	弘化 1 ⑩	1844	37	1904	39	1964
乙巳	10	1725	5	1785	2	1845	38	1905	40	1965
丙午	11	1726	6⑩	1786	3⑤	1846	39	1906	41	1966
丁未	12①	1727	7	1787	4	1847	40	1907	42	1967
戊申	13	1728	8	1788	嘉永 1 ②	1848	41	1908	43	1968
己酉	14⑨	1729	寛政 1⑥⑩	1789	2④	1849	42	1909	44	1969
庚戌	15	1730	2	1790	3	1850	43	1910	45	1970
辛亥	16	1731	3	1791	4	1851	44	1911	46	1971
壬子	17⑤	1732	4②	1792	5②	1852	大正 1 ⑦	1912	47	1972
癸丑	18	1733	5	1793	6	1853	2	1913	48	1973
甲寅	19	1734	6①	1794	安政 1⑦⑩	1854	3	1914	49	1974
乙卯	20③	1735	7	1795	2	1855	4	1915	50	1975
丙辰	元文 1 ④	1736	8	1796	3	1856	5	1916	51	1976
丁巳	2①	1737	9⑦	1797	4⑤	1857	6	1917	52	1977
戊午	3	1738	10	1798	5	1858	7	1918	53	1978
己未	4	1739	11	1799	6	1859	8	1919	54	1979
庚申	5⑦	1740	12④	1800	万延 1③③	1860	9	1920	55	1980
辛酉	寛保 1 ②	1741	享和 1 ②	1801	文久 1 ②	1861	10	1921	56	1981
壬戌	2	1742	2	1802	2⑧	1862	11	1922	57	1982
癸亥	3④	1743	3①	1803	3	1863	12	1923	58	1983
甲子	延享 1 ②	1744	文化 1 ②	1804	元治 1 ②	1864	13	1924	59	1984
乙丑	2②	1745	2⑧	1805	慶応 1⑤①	1865	14	1925	60	1985
丙寅	3	1746	3	1806	2	1866	昭和 1 ②	1926	61	1986
丁卯	4	1747	4	1807	3	1867	2	1927	62	1987
戊辰	寛延 1⑩⑦	1748	5⑥	1808	明治 1④⑨	1868	3	1928	63	1988
己巳	2	1749	6	1809	2	1869	4	1929	平成 1 ①	1989
庚午	3	1750	7	1810	3⑩	1870	5	1930	2	1990
辛未	宝暦 1⑥⑩	1751	8②	1811	4	1871	6	1931	3	1991
壬申	2	1752	9	1812	5	1872	7	1932	4	1992
癸酉	3	1753	10①	1813	6	1873	8	1933	5	1993
甲戌	4②	1754	11	1814	7	1874	9	1934	6	1994
乙亥	5	1755	12	1815	8	1875	10	1935	7	1995

○は閏月 □は元月

各務原市資料調査報告書 第28号
「各務原市文史料目録八」
庶民史料が語る昭和初期のくらし
一 競馬関係資料・軍事郵便一
平成16年4月発行
編集 各務原市歴史民俗資料館
〒504-0011 岐阜県各務原市那加門前町3丁目1番地の3
TEL.(0583)89-5752
発行 各務原市教育委員会
〒504-8535 岐阜県各務原市那加桜町1丁目69番地
TEL.(0583)83-1111(F)
印刷 那加印刷株式会社



